

令和7年度

当初予算(案)主要施策・事業補足資料

5. 令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料一覧

補足資料
ページ

予算案概要
掲載ページ

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1. 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

	● 企業の新規事業創出強化パッケージ	1	10
拡充	● 中小企業デジタル化推進事業	1	10
拡充	● 中小企業事業成長力強化支援事業	2	10
拡充	● 販路開拓支援事業	2	10
拡充	● スタートアップ支援事業	3	11
拡充	● 創業促進事業	3	11
拡充	● 企業立地推進事業	4	11
	● 雇用対策等事業	4	11
	● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり	5	12
拡充	● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業	5	12
拡充	● 商店街等の魅力向上・活性化支援事業	6	12
	● 市街地再開発事業の促進	6	12
	● 活力ある農業の振興	7	13
拡充	● 有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)	7	13
新規	● 間伐材等搬出促進事業	8	13
拡充	● 地域の資源をいかした観光振興事業	8	13
	● 日本遺産活用推進事業(再掲)	9	14
拡充	● インバウンド誘客促進事業	9	14
新規	● 万博を契機とした誘客促進事業(再掲)	10	14
	● 移住定住促進事業	10	15

2. コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

	● 地域の未来づくり推進事業	11	16
	● 地域おこし協力隊事業	11	16
拡充	● 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業	12	16
	● 地域公共交通利便増進事業	12	16
	● 交通結節機能強化(上道駅)	13	17
	● 新たな生活交通の確保事業	13	17
	● 自転車先進都市の推進	14	17
	● 道路ネットワークの充実・強化	14	17
	● 緑のボリュームアップ(再掲)	15	18
	● 快適な住環境整備	15	18
新規	● 高島市営住宅再生事業	16	18

3. 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

拡充	● 「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業(再掲)	17	19
拡充	● 歴史遺産等を活用した観光誘客事業(再掲)	17	19
	● 岡山城西の丸周辺広場整備事業	18	19
拡充	● 文学によるまちづくり推進事業	18	20
	● 岡山芸術交流2025	19	20
	● 岡山シンフォニービル改修事業	19	20
	● おかやまマラソン	20	21
	● 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催	20	21
	● トップチーム支援事業	21	21

II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4. 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

	● 子育て環境の施設整備推進事業	22	22
拡充	● 保育士確保対策	22	22
拡充	● 放課後児童健全育成事業	23	22
	● 産後ケア事業	23	22
	● 妊婦のための支援給付	24	23
新規	● 不妊治療費助成事業	24	23
新規	● 性と健康の相談センター	25	23
	● 子ども医療費助成事業	25	23
拡充	● 困難を抱えるこどもとその家庭への支援	26	24
	● 児童虐待防止の推進	26	24
新規	● 里親養育包括支援(フォスタリング)事業	27	24
拡充	● 障害児保育対策事業	27	24
拡充	● 障害児保護事業(児童発達支援・放課後等デイサービス)	28	25
拡充	● 医療的ケア児等の受入体制の整備	28	25
拡充	● 女性が輝くまちづくり事業	29	25
	● 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト	29	25

5. つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

	● 魅力ある授業づくり推進事業	30	26
	● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業	30	26
	● 部活動地域展開モデル事業	31	26
拡充	● 学校給食費管理運営事業	31	26
	● 学校特別教室空調設備整備事業	32	27
新規	● 中学校体育館空調設備整備事業	32	27
	● 学校給食施設再整備事業	33	27
	● GIGAスクール構想によるICT活用支援事業	33	27
	● 岡山市教育センター(仮称)整備事業	34	28
	● 夜間中学運営事業	34	28
	● 岡山中央中学校区公民館(仮称)整備事業	35	28

6. 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

拡充	● 地域活動支援事業	36	-
拡充	● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業	36	29
	● 区のまちづくりの推進	37	29

Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7. 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

拡充	● 健康寿命延伸事業	38	30
新規	● 带状疱疹ワクチン接種事業	38	30
	● フレイル対策事業	39	30
新規	● 終活支援事業	39	30
拡充	● 支え合い活動の推進	40	31
拡充	● すこやか住宅リフォーム助成事業	40	31
	● 在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進	41	31
	● 在宅医療・介護連携推進事業	41	31
新規	● 救急安心センター事業(#7119)	42	32
拡充	● 認知症伴走型支援事業	42	32
	● 障害者就労支援事業	43	32
拡充	● 地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲)	43	32
拡充	● 戦後80年記念事業	44	33
拡充	● 生活困窮者等自立支援事業(再掲)	44	33
	● 野犬対策事業	45	33

8. 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

新規	● 安全・安心なまちづくりの取組	46	34
	● 下水道・河川等による浸水対策事業	46	34
	● 新庁舎整備事業	47	34
	● 新庁舎周辺施設整備事業	47	34
	● 道路施設の長寿命化事業	48	35
	● 用水路等転落防止対策事業	48	35
拡充	● 住宅・建築物耐震改修等補助事業	49	35
	● 水道施設・管路耐震化等更新事業	49	35
	● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業	50	36
	● 地域防災力強化事業	50	36
	● 緊急・防災情報システム整備事業	51	36
	● 消防指令システム更新事業	51	36
	● 消防救急デジタル無線更新事業	52	37
新規	● アプリを活用した消防団DX推進事業	52	37

9. 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

	● 地球温暖化対策事業	53	38
	● ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業	53	38

3つの将来都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10. 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

	● スマート窓口事業	54	39
	● 業務改革推進事業	54	39
	● 公共施設予約システムの一元化とキャッシュレス決済	55	39
	● 外部専門人材活用事業	55	39
	● 情報発信力強化事業	56	39

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	企業の新規事業創出強化パッケージ					
事業の趣旨・目的	新型コロナウイルスの蔓延からアフターコロナへの転換、物価高騰等、企業の経営環境が大きく変化する中で、市内産業の持続的発展のため、企業の新たな価値を創出する取組(新規事業創出)を支援。地元企業の新たな事業の柱の創出をサポートします。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規事業創出基礎支援 <ul style="list-style-type: none"> 新規事業創出、拡大に向けた課題の洗い出しを行い、新規事業計画策定、試作品の開発、新規事業の検証、ブラッシュアップ等を伴走支援 成果報告会を通じてその成果を横展開 オープンイノベーション活用支援 <ul style="list-style-type: none"> 必要な技術を持つ企業との協業(マッチング)及び、その協業先との新規事業の実証を支援 ※1社あたり200万円程度の実証費用 成果報告会を通じてその成果を横展開 <p>※ 2カ年にわたって上記1～2の支援を実施</p> <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>2年目事業として、引き続き伴走支援を行うとともに、実証費用の補助等を実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	14,516 千円 (9,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(15,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	14,516 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4513	
担当者	企業立地・ものづくり担当課長 藤田 知子				直通 086-803-1329	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	中小企業デジタル化推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	市内中小企業の課題である人手不足、生産性向上、競争力強化に対応するため、企業変革にむけたDXやIoT・AI・ロボット等先端技術の導入、ITの効果的な活用、クラウドサービス導入、デジタル化検討(マッチング含む)の支援を行い、デジタル化・DXを促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> DX推進事業【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> デジタルによる企業変革やIoT・AI・ロボット等導入のコンサルや事前検証の補助 上記検証、または同等の独自検証を行っているものの本格導入に対する補助 IT利活用支援事業 <ul style="list-style-type: none"> IT活用を希望する企業に専門家を派遣し、経営課題分析とITツール等の選定を支援 上記支援を通して、選定したITツール等の導入に対する補助 クラウドサービス等導入支援事業 <ul style="list-style-type: none"> デジタル化に取り組む事業者に伴走し、クラウドサービス等の導入を支援 デジタル化検討促進・マッチング事業 <ul style="list-style-type: none"> 専門家派遣によるデジタル化の課題整理や、その結果に基づいた市内IT・ロボット事業者等とのマッチングを実施 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>DX推進事業に企業変革枠を新設</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	106,400 千円 (96,400 千円)	財源内訳	国県支出金	3,750 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(107,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	102,650 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4513	
担当者	企業立地・ものづくり担当課長 藤田 知子				直通 086-803-1329	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	中小企業事業成長力強化支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	中小企業の生産性向上・競争力強化を図るため、省人・省力化、脱炭素化、新分野進出等への設備投資を支援します。また、円滑な事業承継ができる環境づくりを推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 中小企業設備投資等支援事業【拡充】 生産性向上・競争力強化による事業成長に資する設備投資経費の補助 (1) 補助対象者 市内の中小企業・小規模事業者 (2) 補助内容 省人化・省力化・脱炭素化・新分野進出等につながる設備投資</p> <p>2. 事業承継支援事業 (1) 親族及び従業員への事業承継を支援 (2) 後継者不在に直面する中小企業のM&Aによる事業承継を支援 ・事業承継を支援する人材育成研修の実施 ・育成した人材による事業承継の潜在ニーズ発掘と成約までの伴走支援</p> <p>【R7年度予算のポイント】 新分野への進出に資する前向きな設備投資枠を新設 第三者承継支援人材育成の充実・強化</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	149,000 千円 (119,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(129,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	149,000 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4520	
担当者	課長 ニノ宮 和人				直通 086-803-1323	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	販路開拓支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	市内中小企業の市場開拓及び販路拡張を図るため、展示会等への出展補助、マーケティング活動(世の中のニーズを満たす商品やサービスを探り、売れる仕組みや価値浸透の仕組みをつくること等)の支援を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 販路拡張助成事業費補助金(見本市出展補助金) 市内中小企業が県外(海外含む)における見本市、展示会等に出展する際の出展料に対する補助</p> <p>2. マーケティング活動支援事業【新規】 昨今マーケティングの中でも注目されている、デジタルマーケティングをテーマにSNSやYouTube等の動画、Web・ECサイト、Web広告、SEO(検索上位化)、CRM(顧客管理)、MA(マーケティング活動の自動化)等の活用を伴走支援</p> <p>【R7年度予算のポイント】 マーケティング活動支援事業を新設し、デジタルマーケティング手法による中小企業の効果的な販路開拓を支援</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	21,800 千円 (11,300 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(21,800 千円)		地方債	0 千円	一般財源	21,800 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4513	
担当者	企業立地・ものづくり担当課長 藤田 知子				直通 086-803-1329	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	スタートアップ支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを実施することにより、スタートアップが創出され成長が促進される環境づくりをももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)で取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタートアップ支援拠点運営事業 地元金融機関・商工団体・岡山市で構成された官民連携組織により「ももスタ」を運営 2. スタートアップ支援事業 (1)起業家の掘り起こし・裾野の拡大に繋がるイベントの開催【新規】 (2)起業家の創出・事業成長のための集中支援プログラムの実施 3. GovTech Challenge OKAYAMAの実施 スタートアップと市が協働して、オープンイノベーションの手法により、行政・社会課題の解決に取り組むことで、スタートアップの成長と市の課題解決を目指すプログラムを実施 <p>【R7年度予算のポイント】 スタートアップ企業特化型の県内最大規模のシンポジウムの実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	127,500 千円 (120,000 千円)	財源内訳	国県支出金	37,200 千円	その他	3,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(128,606 千円)		地方債	0 千円	一般財源	87,300 千円
担当課	創業支援・雇用推進課		連絡先		内線 4514	
担当者	課長 河合 祥次				直通 086-803-1342	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	創業促進事業					拡充
事業の趣旨・目的	岡山市内における創業の促進による産業活性化を図ることを目的に、創業相談や助成とあわせ、創業時における融資利率を優遇する融資制度を新設し、創業支援に取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開業ワンストップサービス事業 (1)岡山市で開業する方へ、開業に必要なノウハウ等の提供 (2)開業手続きに関する個別相談 2. 創業促進助成金【拡充】 市内に会社を設立させた代表者の方を対象に助成金を交付 3. 岡山市創業資金融資【拡充】 市内創業者を対象に金融機関からの融資利率を優遇 <p>【R7年度予算のポイント】 創業促進助成金の予算増額 岡山市創業資金融資の制度新設</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	17,285 千円 (9,285 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(10,785 千円)		地方債	0 千円	一般財源	17,285 千円
担当課	創業支援・雇用推進課		担当課		産業振興課	
担当者	課長 河合 祥次		担当者		課長 二ノ宮 和人	
	内線 4515		内線		4520	
	直通 086-803-1342		直通		086-803-1323	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	企業立地推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	地域経済の活性化や雇用の創出等のため、企業の本社や中四国支店等、IT・デジタルコンテンツ関連の事業所、製造工場、研究所、物流施設等の新規立地・拡充や、市内既存工場の再投資・拠点強化を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本社・中四国支店等立地推進事業補助金 2. IT・デジタルコンテンツ産業等推進事業補助金 3. 企業立地促進奨励金 4. 物流施設誘致促進奨励金 5. 再投資・拠点強化促進奨励金 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業拠点周辺の開発許可の緩和(R6.11)による立地促進 ・製造工場、研究所、物流施設に関する補助金の雇用要件の撤廃【拡充】 ・物流施設誘致促進奨励金の補助内容の見直し【拡充】 					
事業費 (前年度当初予算額)	826,000 千円 (285,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(827,312 千円)		地方債	0 千円	一般財源	826,000 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4513	
担当者	企業立地・ものづくり担当課長 藤田 知子				直通 086-803-1328	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	雇用対策等事業					
事業の趣旨・目的	市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主に新規学卒者等を対象とした合同企業説明会を開催 2. 学生と市内企業との交流会を開催 3. 企業の情報と働きやすい職場づくりに取り組む企業の記事をまとめた冊子とwebサイトを作成し、市内学生等に情報提供 4. 子育て中の方等を対象とした就職相談会を開催 5. 外国人留学生と市内企業とのマッチングイベント、企業向け・留学生向けセミナーの開催 6. 市内企業に対し、雇用実態のアンケート調査を実施 					
事業費 (前年度当初予算額)	22,657 千円 (51,350 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(25,330 千円)		地方債	0 千円	一般財源	22,157 千円
担当課	創業支援・雇用推進課		連絡先		内線 4515	
担当者	課長 河合 祥次				直通 086-803-1315	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり					
事業の趣旨・目的	まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、官民連携による公共空間活用の推進、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 歩いて楽しいまちなかの空間創出 下石井公園の魅力向上等による居心地の良い空間づくりや、その空間を活用した官民連携の賑わいづくり 緑のボリュームアップ 街路樹や公園樹木の質向上のための管理・街路樹更新等 旭川かわまちづくり 桜並木の保全及び石山公園再整備の設計業務 西川魅力賑わい創出 これまでの民間主体の西川緑道公園界隈での賑わいづくりの更なる推進 <p>【R7年度予算のポイント】 回遊性向上のための賑わいづくりや中心市街地等の街路樹再生によるまちなかの魅力向上</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	144,000 千円 (105,416 千円)	財源内訳	国県支出金	8,285 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(146,663 千円)		地方債	43,700 千円	一般財源	92,015 千円
担当課	庭園都市推進課	連絡先		内線 3681		
担当者	課長 永井 敏明			直通 086-803-1395		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業					拡充
事業の趣旨・目的	公共交通の要である岡山駅の交通結節機能の強化を図ることを目的に、回遊性の向上、中心市街地の活性化を図るため、岡山駅前広場への路面電車乗り入れを進めます。併せて、岡山市の玄関口である駅前広場を整備し、利便性と魅力の向上を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>駅前広場整備及び交差点改良に係る整備工事、軌道工事等</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)地下街補強工事 (2)駅前広場工事 (3)交差点工事 (4)軌道工事(補助金) (5)公共交通案内所兼待合所・長庇整備 (6)バス上屋、修景ゾーン整備【拡充】 <p>※ 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業の一部については、令和6年度国補正予算による交付金等を活用し、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しての実施を予定しています。</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	730,000 千円 (3,308,000 千円)	財源内訳	国県支出金	308,943 千円	その他	1,500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,851,290 千円)		地方債	262,600 千円	一般財源	156,957 千円
担当課	交通政策課	連絡先		内線 3620		
担当者	課長 金川 伸也			直通 086-803-1374		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	商店街等の魅力向上・活性化支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	商店街や商業集積エリアの魅力向上・活性化のため、賑わいづくり等への補助と併せて、空き店舗・未活用店舗対策、新たな担い手の創出・育成を行うことで売上や商業集積エリアの価値向上等に対する取組を支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 商店街等の魅力向上・活性化に必要な経費について補助 <ol style="list-style-type: none"> 商店街賑わいづくり支援事業:商店会が実施する売上向上の取組を支援 商店街サポートアイデア協働事業:商店街を舞台として外部団体が商店会と協働して行う売上向上の取組を支援 商店街基盤整備事業:商店会が維持管理するアーケード等の改修・設置補助 商店街空き店舗対策事業:出店に必要な店舗改修補助 商店街未利用店舗リノベーション事業 地域商業グループ活動支援事業:商店街以外で連続した商業圏域が形成されているエリアの売上向上の取組を支援 商店街空き店舗・未活用店舗の支援【拡充】 商業者育成塾 商店街応援協力隊(地域おこし協力隊)への支援 <p>【R7年度予算のポイント】</p> 商店街空き店舗・未活用支援に出店希望者とのマッチング支援を新たに実施					
事業費 (前年度当初予算額)	60,000 千円 (104,400 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(66,100 千円)		地方債	0 千円	一般財源	60,000 千円
担当課	産業振興課		連絡先		内線 4520	
担当者	課長 二ノ宮 和人				直通 086-803-1323	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	市街地再開発事業の促進					
事業の趣旨・目的	駐車場等の低・未利用地が多く分散している中心市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を進めるため、民間活力をいかしながら、市街地再開発事業により高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対して、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金による支援等 <p><対象地区> 駅前町一丁目2番3番4番地区 蕃山町1番地区 表町三丁目15番地区 表町一丁目1番地区 天神町10番地区</p> 市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への助言・指導と助成金による支援 					
事業費 (前年度当初予算額)	5,663,000 千円 (4,678,000 千円)	財源内訳	国県支出金	2,933,594 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(5,663,997 千円)		地方債	2,448,500 千円	一般財源	280,906 千円
担当課	市街地整備課		連絡先		内線 3651	
担当者	都市再開発担当課長 服部 義和				直通 086-803-1378	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	活力ある農業の振興					
事業の趣旨・目的	新規就農者や意欲ある農業者への支援を行うとともに、農産物のブランド化を進め、持続可能で儲かる農業に向けた基盤づくりと競争力の強化を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. きめ細やかな新規就農サポート体制による支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 就農相談や就農体験の情報提供等の支援、研修中に受けられる資金の交付 (2) 次世代を担う新規就農者に、就農直後の経営確立を支援する資金を交付 2. 経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生産拡大に向けた設備導入や、省力化機械・施設等の整備を補助 (2) 担い手への農地集積・集約化を推進するための支援 3. 農産物のブランド化に向けた取組 岡山市産農産物の関西圏でのPRや販売促進活動の実施 4. 環境保全型農業の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 有機農業の面積拡大を図るため、環境保全型農業に取り組む農業者を支援 (2) スマート農業実証実験のためのデータ基盤の構築 					
事業費 (前年度当初予算額)	179,600 千円 (182,300 千円)	財源内訳	国県支出金	107,441 千円	その他	8,205 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(184,590 千円)		地方債	0 千円	一般財源	68,414 千円
担当課	農林水産課	連絡先		内線 4540		
担当者	課長 石村 琢哉			直通 086-803-1346		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)					拡充
事業の趣旨・目的	有害鳥獣被害軽減のため、地域ぐるみでの効果的な対策を目指した専門家等による支援を実施するとともに、侵入防止柵設置助成、捕獲柵(檻)設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する助成を行い、総合的な対策を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 侵入防止柵設置助成 防護柵(ワイヤーメッシュ柵、電気柵、トタン柵など)の設置に係る経費を補助 2. 捕獲柵(檻)設置助成 捕獲柵(檻)の購入に係る経費を補助 3. 捕獲活動を行う駆除班の活動支援【拡充】 猟友会駆除班の活動に対して活動班員数や活動実績に応じて奨励金を支給 4. 捕獲に対する助成 捕獲及び狩猟により捕獲した有害鳥獣の頭数に応じて奨励金を支給 5. 狩猟免許取得助成【拡充】 新規に狩猟免許を取得する費用を全額補助 6. 野生鳥獣被害実態調査の実施 アンケートやヒアリング調査に基づき、市内の被害状況を把握 7. ICTを活用した捕獲システムの活用 ICTを活用し、捕獲活動の支援を行い、駆除班の負担を軽減 					
事業費 (前年度当初予算額)	114,700 千円 (100,000 千円)	財源内訳	国県支出金	42,893 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(119,640 千円)		地方債	0 千円	一般財源	71,807 千円
担当課	農林水産課	連絡先		内線 4542		
担当者	農林水産企画調整担当課長 奥田 康博			直通 086-803-1345		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	間伐材等搬出促進事業					新規
事業の趣旨・目的	森林がもつ多面的な機能を持続的にいかす森林整備の取組に寄与するため、間伐材等の搬出に係る費用を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 間伐材等搬出促進事業補助金 市内の森林保全や木材の流通を促進するため、スギ・ヒノキの間伐材等(再造林を伴う皆伐を含む)を市場へ搬出する際の運搬経費の一部を補助					
事業費 (前年度当初予算額)	6,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(0 千円)		地方債	0 千円	一般財源	6,000 千円
担当課	農林水産課		連絡先		内線 4542	
担当者	農林水産企画調整担当課長 奥田 康博				直通 086-803-1345	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域の資源をいかした観光振興事業					拡充
事業の趣旨・目的	「文化財と観光の融合」をキーワードに地域の資源をいかし、ソフト・ハード事業を実施することで、観光誘客を図るとともに、観光客や市民に本市の歴史遺産などの価値や魅力を伝えていきます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業【拡充】 2. 歴史遺産等を活用した観光誘客事業【拡充】 新たな倭国論、史跡万富東大寺瓦窯跡の情報発信等 3. 日本遺産活用推進事業 4. 各エリアにおける主な観光施設整備等 (1)造山古墳ビジターセンター展示魅力アップ事業【新規】 (2)浦間茶臼山古墳周辺整備事業 (3)亀山城跡観光駐車場整備推進事業【新規】 (4)乙子城跡環境整備推進事業(景観整備)【新規】 (5)西大寺観音院歴史観光案内板等整備事業					
事業費 (前年度当初予算額)	581,562 千円 (607,157 千円)	財源内訳	国県支出金	131,862 千円	その他	103,616 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(529,026 千円)		地方債	58,200 千円	一般財源	287,884 千円
担当課	観光振興課	内線	4532	担当課	プロモーション・MICE推進課	内線
担当者	課長 水岡 克也	直通	086-803-1332	担当者	課長 的場 栄子	直通
						086-803-1333
担当課	教育委員会事務局文化財課	内線	3875			
担当者	課長 竹内 広宣	直通	086-803-1611			

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	日本遺産活用推進事業(再掲)						
事業の趣旨・目的	平成30年度認定の日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」及び令和6年度追加認定の日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成文化財等を活用して地域の活性化、観光誘客等を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. 史跡造山古墳群保存整備事業 (1)造山古墳後円部立体的復元整備工事 (2)造山古墳史跡指定地の公有化 2. 日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進事業 (1)日本遺産体験プログラムフェスティバルの開催 (2)観光ガイド養成講座の開催 (3)新聞広告を活用したPR (4)浦間茶臼山古墳周辺整備 (5)出土品レプリカの展示(造山古墳ビジターセンター) 3. 日本遺産「北前船寄港地・船主集落」推進事業 (1)看板等の環境整備 (2)観光ガイドブックの作成						
事業費 (前年度当初予算額) (今年度当初要求額)	143,900 千円 (174,446 千円) (142,237 千円)	財源内訳	国県支出金	86,747 千円	その他	5,700 千円	
			地方債	32,200 千円	一般財源	19,253 千円	
担当課	プロモーション・MICE推進課	内線	4534	担当課	教育委員会事務局文化財課	内線	3875
担当者	課長 的場 栄子	直通	086-803-1333	担当者	課長 竹内 広宣	直通	086-803-1611
担当課	観光振興課	内線	4532				
担当者	課長 水岡 克也	直通	086-803-1332				

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	インバウンド誘客促進事業 拡充					
事業の趣旨・目的	市内や近県で大型イベントが開催される2025年は、インバウンドの更なる増加が見込まれることから、ターゲットを絞った情報発信により、引き続き誘客促進に取り組めます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 外国人観光客受入体制の充実 (1)ムスリム受入体制を充実させるため、新たな飲食店の掘り起こしなどを実施 (2)インバウンド向け飲食店デジタルMAPの運用 2. 外国人団体旅行客向け宿泊助成 3. 広域連携(西のゴールデンルートアライアンス等)によるインバウンド誘客促進【拡充】					
事業費 (前年度当初予算額) (今年度当初要求額)	79,400 千円 (98,600 千円) (101,937 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
			地方債	0 千円	一般財源	79,400 千円
担当課	プロモーション・MICE推進課	連絡先		内線	4534	
担当者	課長 的場 栄子			直通	086-803-1333	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	万博を契機とした誘客促進事業(再掲)					新規
事業の趣旨・目的	大阪・関西万博では、約2,820万人(うちインバウンド350万人)が来場すると予想されており、また、同時期に大型イベントが市内等でも開催されることから、大阪から岡山へ来場者を誘客する絶好の機会と捉え、情報発信を強化し観光誘客につなげます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 大阪・関西万博への出展 (1)岡山県内の自治体等と共同出展 (2)西のゴールデンルートアライアンスによる共同出展(再掲) (3)ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」への出展 2. 万博開催時の旅ナカ情報発信 関西空港やJR関西空港駅へのパンフレット設置などによる情報発信					
事業費 (前年度当初予算額)	35,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(36,520 千円)		地方債	0 千円	一般財源	35,000 千円
担当課	プロモーション・MICE推進課		連絡先		内線 4534	
担当者	課長 的場 栄子				直通 086-803-1333	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	移住定住促進事業					
事業の趣旨・目的	移住・定住希望者に対し、ニーズに沿ったきめ細やかな情報の提供体制や移住相談・支援、移住後の支援体制の充実を図ります。 県や連携中枢都市圏域の市町と連携し、本市への移住・定住を促進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 移住相談会への出展 2. 日常的な移住相談対応 3. 移住支援に関する情報発信 4. おかやまぐらし相談センターの運営 5. 移住サポート補助 ・企業面接等に要する交通費に対する補助 ・お試し住宅(民間賃貸物件)の利用に対する補助 ・中古住宅購入またはリフォームに対する補助 6. 東京圏からの移住費補助					
事業費 (前年度当初予算額)	91,800 千円 (95,000 千円)	財源内訳	国県支出金	8,625 千円	その他	1,500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(91,813 千円)		地方債	0 千円	一般財源	81,675 千円
担当課	市民協働企画総務課		連絡先		内線 3288	
担当者	おかやまぐらし推進担当課長 中島 悌吾				直通 086-803-1335	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域の未来づくり推進事業					
事業の趣旨・目的	地域住民をはじめ、NPO法人や企業等の多様な主体による、地域活力の創出や生活サービスの維持を目指し、持続可能な「コミュニティビジネス」の創出など、様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 地域の未来づくり推進事業補助金 地域の活性化、地域課題の解決に向けた事業に対する補助 2. 地域活力創出事業補助金 地域の活性化や担い手の掘り起こしを目途とした、事業の試作・試行に対する補助 3. 個別支援の実施 専門家やアドバイザーの派遣による活動計画づくりや事業継続の支援 4. 地域の担い手の育成 ・地域の未来づくり推進事業補助金活用者の事例紹介 ・コミュニティビジネスに関する講演会等の開催					
事業費 (前年度当初予算額)	119,300 千円 (162,200 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	118,500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(119,464 千円)		地方債	0 千円	一般財源	800 千円
担当課	事業政策課		連絡先		内線 3590	
担当者	課長 安東 京子				直通 086-803-1042	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域おこし協力隊事業					
事業の趣旨・目的	人口減少・高齢化の進行により、地域活動を担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から新たな人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。					
事業の概要	【事業内容】 周辺地域及び中心部商店街で活動する隊員への支援 ・報償費 ・地域おこし協力隊活動補助金 地域協力活動に必要な経費に対する支援 ・地域おこし協力隊員起業等支援補助金 隊員の市内での起業等に対する支援					
事業費 (前年度当初予算額)	61,900 千円 (58,300 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(62,563 千円)		地方債	0 千円	一般財源	61,900 千円
担当課	事業政策課	内線	3590	担当課	北区役所総務・地域振興課	内線
担当者	課長 安東 京子	直通	086-803-1042	担当者	課長 黄江 尚子	直通
						086-803-1655
担当課	産業振興課	内線	4520			
担当者	課長 二ノ宮 和人	直通	086-803-1323			

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	公共交通高齢者・障害者運賃割引事業					拡充
事業の趣旨・目的	人口減少や高齢化が進行する中、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっていることから、自動車を運転できない高齢者や障害者の運賃割引を実施し、公共交通の利用促進を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】 路線バス・路面電車・航路(犬島)を対象に、高齢者・障害者運賃割引の実施 (R3年10月から実施中) (1)高齢者(65歳以上)・障害者の運賃割引(半額)を実施 (2)障害者定期券の割引を実施</p> <p>※割引(市負担)の利用条件 ①岡山市民 ②割引用専用カードでの利用 ③乗車・降車のいずれかが岡山市内</p> <p>【R7年度予算のポイント】 犬島離島航路を割引対象に追加【拡充】</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	576,000 千円 (564,900 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	273,718 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(575,929 千円)		地方債	0 千円	一般財源	302,282 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 金川 伸也				直通 086-803-1374	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域公共交通利便増進事業					
事業の趣旨・目的	持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、令和5年度に策定した「岡山市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、バス路線の再編や利用環境の改善に取り組み、公共交通の利用促進と経営の安定化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1.公共交通ネットワークの階層化に向けた路線再編 ・乗継拠点の整備 ・運行支援(支線)等</p> <p>2.公共交通利用環境の改善 ・ICカードシステムリニューアル ・デジタルサイネージの整備 ・低床車両の導入支援等</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	181,944 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	67,137 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,265,889 千円)		地方債	0 千円	一般財源	114,807 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 金川 伸也				直通 086-803-1374	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	交通結節機能強化(上道駅)					
事業の趣旨・目的	乗降客数が多い駅において、駅前広場やバリアフリー施設の整備により利便性や安全性を向上させ、交通結節点機能の強化を図ることで、公共交通を中心とした交通ネットワークの構築を目指します。					
事業の概要	【事業内容】 上道駅 (1)南口駅前広場整備工事 (2)駅構内バリアフリー施設詳細設計(補助金)					
事業費 (前年度当初予算額)	212,000 千円 (213,800 千円)	財源内訳	国県支出金	16,533 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(240,001 千円)		地方債	29,700 千円	一般財源	165,767 千円
担当課	交通政策課		連絡先	内線 3620		
担当者	課長 金川 伸也			直通 086-803-1374		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新たな生活交通の確保事業					
事業の趣旨・目的	人口減少や高齢化が進展するなか、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取組を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施するなかで実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら、本格運行を実施 生活交通の運行に対する補助 (1)本格運行 灘崎地域迫川地区、瀬戸地域千種地区、津高地域馬屋上・野谷地区、上道地域角山地区、上道地域城東台・草ヶ部地区、牧石地域牧山地区、山南地域幸島地区、山南地域朝日地区 (2)試験運行 津高地域横井地区					
事業費 (前年度当初予算額)	26,800 千円 (25,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(27,280 千円)		地方債	0 千円	一般財源	26,800 千円
担当課	交通政策課		連絡先	内線 3620		
担当者	課長 金川 伸也			直通 086-803-1374		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	自転車先進都市の推進					
事業の趣旨・目的	「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、誰もが自転車を“安全”で“快適”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、各種自転車施策を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 自転車通行空間整備事業 自転車通行空間ネットワークを形成する路線について、道路交通の状況等を踏まえた整備等を実施 2. 自転車駐車場整備事業 交通結節点(鉄道駅)における駐輪場の整備促進 3. コミュニティサイクル事業 民間事業者と共同してコミュニティサイクル「ももちゃり」を実施 コミュニティサイクル「ももちゃり」更新検討 4. サイクリングルート事業 市内のサイクリングルート(吉備路・吉備高原)マップの更新等を実施 5. 自転車ルール・マナー関係事業 放置自転車防止啓発指導や、自転車の交通ルール・マナー向上に向けた活動を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	187,400 千円 (209,800 千円)	財源内訳	国県支出金	20,915 千円	その他	2,620 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(210,986 千円)		地方債	16,100 千円	一般財源	147,765 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 金川 伸也				直通 086-803-1374	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	道路ネットワークの充実・強化					
事業の趣旨・目的	中心市街地への流入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消・交通混雑緩和に資する外・中環状線の整備や、企業立地・物流などの経済活動、観光コンベンションなどの広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化を引き続き重点的に取り組みます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 環状道路の整備 (1) 中環状線 都市計画道路下中野平井線の旭川の橋梁工事を推進 (2) 外環状線 県道岡山赤穂線のJR軌道部アンダーパス工事を推進 市道江並升田線の事業用地取得を推進 2. 広域交通網の整備 美作岡山道路の山陽自動車道への接続に向け、ジャンクション等の整備を推進					
事業費 (前年度当初予算額)	3,036,700 千円 (3,713,900 千円)	財源内訳	国県支出金	1,582,650 千円	その他	458 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(4,541,219 千円)		地方債	1,293,500 千円	一般財源	160,092 千円
担当課	道路計画課		連絡先		内線 3640	
担当者	課長 渡辺 伸司				直通 086-803-1696	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	緑のボリュームアップ(再掲)					
事業の趣旨・目的	歩きたくなるまちなかづくりを推進するため、街路樹の質、ボリュームを向上させる取組を実施します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 中心市街地の街路樹再生についての取組の継続 樹木が持つ、本来の美しい姿を目指した街路樹管理の継続</p> <p>2. 街路樹再生プログラム(第2期)の取組 樹木が持つ、本来の美しい姿を目指した街路樹の管理や街路樹の更新等 対象地区:西大寺駅周辺地区、北長瀬駅周辺地区</p> <p>【R7年度予算のポイント】 街路樹再生プログラム(第2期)における街路樹更新についての設計・工事</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	52,000 千円 (27,400 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(53,100 千円)		地方債	27,900 千円	一般財源	24,100 千円
担当課	庭園都市推進課		連絡先		内線 3680	
担当者	公園緑地担当課長 江川 喜博				直通 086-803-1392	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	快適な住環境整備					
事業の趣旨・目的	「岡山市住生活基本計画」に基づき、市営住宅の適切な管理の推進など住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保に取り組むとともに、総合的な空家対策の推進等、既存住宅ストックの活用促進及び良質な住宅ストックの形成を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 市営住宅維持管理 居住の安定と福祉の増進に寄与するため、市営住宅の適切な維持管理を実施</p> <p>2. 空家等適正管理支援事業 ・空家の適正管理や利活用を促すために、空家法に基づく特定空家等については除却や応急措置に対して、その他の空家等についてはリフォーム、家財等処分及び空家診断に対して、所有者等の自主的な取組を支援 ・将来的な空家の発生抑制のため、地域の方々と連携し「空き家を生まないプロジェクト」を実施</p> <p>【R7年度予算のポイント】 管理不全空家等への対策強化</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	1,083,644 千円 (1,116,024 千円)	財源内訳	国県支出金	223,729 千円	その他	693,998 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,094,911 千円)		地方債	5,400 千円	一般財源	160,517 千円
担当課	住宅課	内線	4660	担当課	建築指導課	内線
担当者	課長 船守 秀樹	直通	086-803-1466	担当者	課長 若松 達史	直通
						086-803-1410

事務事業名	高島市営住宅再生事業						新規
事業の趣旨・目的	令和5年3月に改定した岡山市営住宅等長寿命化計画において、建替と位置付けた高島市営住宅について、基本計画の策定を行います。						
事業の概要	<p>【事業内容】 高島市営住宅の建替に向けた基本計画の策定 ・住宅整備方針(現入居者の意向調査、住戸プラン等詳細検討) ・事業手法、スケジュール(住替え、仮移転に関する意向調査等) ・余剰地活用の検討(サウンディング調査、導入施設等の可能性)等</p> <p>【期間】 令和7年度～令和9年度</p>						
事業費 (前年度当初予算額)	20,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	10,000 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(20,500 千円)		地方債	0 千円	一般財源	10,000 千円	
担当課	住宅課		連絡先		内線 4660		
担当者	課長 船守 秀樹				直通 086-803-1466		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業(再掲)					拡充	
事業の趣旨・目的	「歴史を伝える城、集う城」のコンセプトを体現する事業を実施し、観光誘客や岡山城一帯の賑わい創出を図るとともに、戦国宇喜多家の人物に焦点を当てた事業を展開することで、市民の誇りを醸成し、魅力を発信します。また、史跡本来の姿を復元整備していきます。						
事業の概要	【事業内容】 1. 岡山城一帯でのイベント開催等による「集う城」の体現 烏城灯源郷やインバウンド向け和文化体験事業などの開催により、岡山城一帯の賑わいを創出するほか、県外・海外からの誘客促進プロモーション活動を実施 2. 戦国宇喜多家を発信する事業(大河ドラマ誘致事業)【拡充】 宇喜多家の大河ドラマ誘致に向けた各種プロモーション、宇喜多家や岡山城の歴史・魅力をいかした賑わい創出イベントを実施 3. XRを活用した岡山城展示事業【新規】 かつての岡山城をVR等で体験できるコンテンツを制作 4. 本丸下の段歴史的環境整備事業 本丸下の段西側の石垣修理 5. 岡山城内下馬門・太鼓櫓の復元整備 岡山城の正面入り口である内下馬門・太鼓櫓の復元整備に向けた調査						
事業費 (前年度当初予算額)	172,900 千円 (177,000 千円)	財源内訳	国県支出金	35,558 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(172,905 千円)		地方債	18,200 千円	一般財源	119,142 千円	
担当課	観光振興課	内線	4532	担当課	教育委員会事務局文化財課	内線	3875
担当者	課長 水岡 克也	直通	086-803-1332	担当者	課長 竹内 広宣	直通	086-803-1611

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	歴史遺産等を活用した観光誘客事業(再掲)					拡充	
事業の趣旨・目的	岡山市の歴史・文化遺産の魅力及びその価値やエピソードなどを観光的な視点を踏まえてわかりやすく発信し、市民の誇りを醸成するとともに、観光誘客を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. 文化財保存整備事業【拡充】 (1)造山古墳前後に築造されたとされる大型古墳9基の測量調査 (2)史跡万富東大寺瓦窯跡整備に向けての発掘調査 2. 史跡万富東大寺瓦窯跡を活用した情報発信【新規】 (1)スマートフォン等のアプリで動作するARコンテンツの制作 (2)デザインマンホール制作・取付 3. 新たな倭国論の情報発信【拡充】 5世紀初頭全国最大級の大きさを誇り、古代吉備の強大さを感じられる造山古墳の往時の様子を再現するVR動画を制作 4. 歴史観光Webサイト「レキタビ」を活用した情報発信 Webサイトの運用管理、SNS広告、及びスタンプラリーの実施						
事業費 (前年度当初予算額)	82,662 千円 (26,512 千円)	財源内訳	国県支出金	800 千円	その他	62,700 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(36,258 千円)		地方債	0 千円	一般財源	19,162 千円	
担当課	プロモーション・MICE推進課	内線	4534	担当課	教育委員会事務局文化財課	内線	3875
担当者	課長 的場 栄子	直通	086-803-1333	担当者	課長 竹内 広宣	直通	086-803-1611

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山城西の丸周辺広場整備事業					
事業の趣旨・目的	まちなかの魅力と賑わい、回遊性の向上を図るため、岡山城西の丸周辺に広場を整備します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山市民会館跡地のオープンスペース整備の設計を実施 便益施設等を整備運営する民間事業者の募集要項や選定基準等を作成 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>広場整備の推進</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	34,000 千円 (10,000 千円)	財源内訳	国県支出金	17,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(34,089 千円)		地方債	4,600 千円	一般財源	12,400 千円
担当課	庭園都市推進課	連絡先		内線 3681		
担当者	課長 永井 敏明			直通 086-803-1395		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	文学によるまちづくり推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を通じて、国内外の都市との交流を盛んにし、先人の作品・歴史風土に目を向けるとともに創造活動の活発化を促し、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を推進します。					
事業の概要	<p>【主な事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民の郷土の文化に対する誇りや愛着の醸成 <ul style="list-style-type: none"> 郷土の文学者の書籍出版 読書感想文コンクールの実施 文学フェスティバルの開催 国内外への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 国際会議の開催【新規】 フリーマガジン「うったて」の発行 創造活動の活発化 <ul style="list-style-type: none"> ライター・イン・レジデンスの実施 坪田譲治文学賞及び市民の童話賞関連事業の実施 					
事業費 (前年度当初予算額)	49,200 千円 (38,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	3,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(32,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	46,200 千円
担当課	文化振興課	連絡先		内線 3741		
担当者	文学創造都市推進担当課長 門田 陽子			直通 086-803-1054		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山芸術交流2025					
事業の趣旨・目的	岡山城・岡山後楽園を中心とした歴史文化ゾーンにおいて、民間と連携し世界からも注目される最先端の現代美術作品を見る機会を提供し、国内外からの誘客による都市の魅力向上、まちの賑わいを創出します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>岡山芸術交流2025(会期:令和7年9月26日(金)～11月24日(月))</p> <ol style="list-style-type: none"> 3年に一度の国際現代美術展「岡山芸術交流」の開催 開催へ向けての諸準備及び実施 <ol style="list-style-type: none"> 現代アート展の準備 各種プログラムの実施(パブリックプログラムなど) 子どもの鑑賞支援 運営を支えるサポートスタッフ(ボランティア)の募集と育成 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への浸透(特に地元住民・団体に重点) 子どもへの鑑賞支援の強化(学校鑑賞など) 県外、海外からの観光誘客 					
事業費 (前年度当初予算額)	163,590 千円 (28,500 千円)	財源内訳	国県支出金	30,000 千円	その他	31,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(163,590 千円)		地方債	0 千円	一般財源	102,590 千円
担当課	文化振興課	連絡先		内線 3740		
担当者	課長 熊代 健一			直通 086-803-1054		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山シンフォニービル改修事業													
事業の趣旨・目的	供用開始後33年が経過する岡山シンフォニービルは、特定天井や壁等の改修や耐用年数を超えた設備・機器の更新が必要となっており、今後30年の供用を見据えた長寿命化改修や設備更新に併せ、魅力・快適性の向上を図ります。													
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山シンフォニービル改修工事の実施 <ol style="list-style-type: none"> 使用者・利用者の安全性の確保 特定天井・壁・床改修、舞台機構更新、高齢者等のアクセシビリティの向上 等 時代にマッチした音響性能の維持 音響設備更新 等 エコ化(グリーン化) 照明LED化、空調設備更新 等 魅力・快適性の向上 舞台・客席等各所照明更新、トイレ改修、客席・カーペット・サイン更新 等 スケジュール <table border="0"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>基本設計</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>基本設計、実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和7～8年度</td> <td>引越し、改修工事、工事監理、備品購入</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>引越し、リニューアルオープン</td> </tr> </table> 						令和5年度	基本設計	令和6年度	基本設計、実施設計	令和7～8年度	引越し、改修工事、工事監理、備品購入	令和9年度	引越し、リニューアルオープン
令和5年度	基本設計													
令和6年度	基本設計、実施設計													
令和7～8年度	引越し、改修工事、工事監理、備品購入													
令和9年度	引越し、リニューアルオープン													
事業費 (前年度当初予算額)	1,907,000 千円 (182,900 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円								
事業費 (今年度当初要求額)	(1,907,217 千円)		地方債	1,645,600 千円	一般財源	261,400 千円								
担当課	文化振興課	連絡先		内線 3740										
担当者	課長 熊代 健一			直通 086-803-1054										

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	おかやまマラソン					
事業の趣旨・目的	「おかやまマラソン2025」を、市民・県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。また、大会の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることにより、地域の活性化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1.「おかやまマラソン2025」開催経費 岡山県ほか関係団体と共同して、日本陸連公認コース(フルマラソン)を使用した都市型大規模マラソン大会を開催。併せて、大会前日、当日の両日には、主会場周辺で「おかやまマラソンEXPO」を開催し、岡山のご当地グルメや、特産品等の物販、各地域の情報発信等を実施 2.「おかやまマラソン2026」開催準備経費 次回大会の広報宣伝、運営計画や運営マニュアルの改訂、スポンサー募集やエントリーサイト構築といった開催準備を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	108,051 千円 (80,725 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(108,051 千円)		地方債	0 千円	一般財源	108,051 千円
担当課	スポーツ振興課		連絡先	直通 086-226-7907		
担当者	マラソン事務局担当課長 有森 一雄					

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催					
事業の趣旨・目的	令和7年度に中国5県で開催される全国高等学校総合体育大会のうち、岡山市内で開催されるバスケットボール、バレーボール(女子)、柔道競技大会を通じて、市民のスポーツへの関心を高める機会とするとともに、岡山の魅力を発信し、地域の活性化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 競技大会開催に向けた準備や大会の運営を実施 ・岡山市実行委員会の開催 ・関係団体等との連絡調整 ・広報活動 ・競技会場の設営 ・医療・救護・輸送・警備に関する業務 ・式典及び競技大会の運営 <大会概要> ・バスケットボール競技大会 令和7年7月26日(土)～8月1日(金) ・バレーボール(女子)競技大会 令和7年8月5日(火)～8月9日(土) ・柔道競技大会 令和7年8月13日(水)～8月17日(日)					
事業費 (前年度当初予算額)	58,500 千円 (1,800 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(58,511 千円)		地方債	0 千円	一般財源	58,500 千円
担当課	スポーツ振興課		連絡先	内線 4740		
担当者	課長 吉田 武生		直通 086-803-1689			

事務事業名	トップチーム支援事業					
事業の趣旨・目的	岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山)が広く市民に浸透し、市民の誇りとなるよう、各種支援を実施します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>各種支援事業の実施</p> <p>(1)岡山市民デーの開催 各チームのホームゲームのうち、年1ゲームにおいて、各種イベントを実施</p> <p>(2)小学校での給食交流企画 選手が市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施</p> <p>(3)岡山シーガルズ及びトライフープ岡山の練習場確保 練習場所の確保が困難な両チームに対する練習環境の整備支援</p> <p>(4)岡山連携中枢都市圏関係市町による応援企画 関係市町と連携し、トップチームのホームゲームにおいて応援イベントを実施 (令和7年度は岡山シーガルズのホームゲームで実施)</p> <p>(5)まちなかでの広報企画 市中心部を一定期間バナーフラッグで装飾し、応援機運を醸成</p>					
事業費	14,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	355 千円
(前年度当初予算額)	(14,700 千円)		地方債	0 千円	一般財源	13,645 千円
(今年度当初要求額)	(14,201 千円)					
担当課	スポーツ振興課		連絡先		内線 4740	
担当者	課長 吉田 武生				直通 086-803-1616	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	子育て環境の施設整備推進事業					
事業の趣旨・目的	幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。また、老朽化等の対策を行う私立施設に対して補助を行い、安全安心な就学前教育・保育環境を整備します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 令和7年度市立認定こども園整備対象園 ・西大寺認定こども園(仮称) ・幡多認定こども園(仮称) ・御野認定こども園(仮称) ・南輝認定こども園(仮称) ・野谷認定こども園 ・芳田認定こども園(仮称) ・福浜・平福認定こども園(仮称) ・操南認定こども園(仮称) 2. 市立施設の民営化に伴う施設整備に対する補助対象園 ・桃丘学区こども園 ・旭操学区こども園 ・第三藤田学区こども園 ・芳明学区こども園 ・牟佐地区こども園 3. 老朽化等の対策を行う私立施設への補助 ・施設整備数 3か所					
事業費 (前年度当初予算額)	5,185,100 千円 (3,587,200 千円)	財源内訳	国県支出金	1,353,957 千円	その他	38,937 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(5,510,838 千円)		地方債	2,512,100 千円	一般財源	1,280,106 千円
担当課	こども園推進課	連絡先		内線 4730		
担当者	課長 逢澤 雅子			直通 086-803-1430		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	保育士確保対策				拡充	
事業の趣旨・目的	安定的な受け皿の確保及び保育の質の向上のため、保育士の確保を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 民間保育士等処遇改善事業 民間保育士等を対象に平均約2%の賃金改善を実施 2. 保育士等宿舍借り上げ支援事業 新たに採用した保育士等を対象とした宿舍の借上を実施する事業者に対する補助 3. 保育支援者配置助成事業 民間保育士の業務負担軽減のための保育支援者や、登園時等の重大事故が発生しやすい時間帯のスポット的な支援員を配置する事業者に対する補助 4. 保育士資格取得支援事業【拡充】 保育士試験等により保育士資格取得を目指す者に対し、保育士試験等経費を補助 5. 奨学金返済支援事業 保育士の奨学金返済費用に対する補助を、経過措置として交付決定済の人に継続 【R7年度予算のポイント】 市内保育施設に勤務することを前提に、保育士資格を有しない方を対象とした保育士試験等経費の支援を拡充					
事業費 (前年度当初予算額)	401,280 千円 (407,900 千円)	財源内訳	国県支出金	115,542 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(428,938 千円)		地方債	0 千円	一般財源	285,738 千円
担当課	保育・幼児教育課	連絡先		内線 4720		
担当者	課長 富岡 博之			直通 086-803-1228		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	放課後児童健全育成事業						拡充
事業の趣旨・目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市立の放課後児童クラブに位置付けたクラブの持続的かつ安定的な運営 <ul style="list-style-type: none"> ・対象クラブ数 67クラブ 2. 地域主体で実施する児童クラブの質の改善の推進等 <ul style="list-style-type: none"> ・開所時間、開所日数の延長、障害児の受入推進、賃金改善等に要する費用の補助 3. 児童クラブ施設の量の確保等 <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童解消に向けた専用施設の建設や特別教室のタイムシェア等の施設整備 ・待機児童対策における届出済民間クラブへの補助 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童対策における民間事業者への新たな補助メニューの創設【拡充】 ・市立クラブ等の施設環境整備 <p>※ 放課後児童健全育成事業の一部については、令和6年度国補正予算による交付金等を活用し、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しての実施を予定しています。</p>						
事業費 (前年度当初予算額)	5,764,613 千円 (4,312,000 千円)	財源内訳	国県支出金	3,011,779 千円	その他	770,205 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(5,949,389 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,982,629 千円	
担当課	地域子育て支援課	連絡先		内線 4758			
担当者	課長 梅垣 浩久			直通 086-803-1589			

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	産後ケア事業						
事業の趣旨・目的	産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児を行えるよう、医療機関や助産所、居宅において、産後の母子に休養の機会を提供し、心身のケアや育児サポート等を行います。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>医療機関や助産所、居宅において、産婦の母体管理及び生活面の指導、心理的ケア、授乳指導、沐浴等の育児指導、乳児の世話、発育・発達チェック、健康上の観察等を実施</p> <p><対象者> 市内に住民票のある方で、産後1年未満の母親と乳児</p> <p><実施方法> 短期入所型、通所型 利用者が県内の医療機関や助産所へ宿泊もしくは日帰りで入所 居宅訪問型 助産師が利用者の居宅を訪問</p>						
事業費 (前年度当初予算額)	50,200 千円 (25,600 千円)	財源内訳	国県支出金	37,650 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(56,400 千円)		地方債	0 千円	一般財源	12,550 千円	
担当課	保健管理課	連絡先		内線 5750			
担当者	課長 森 公造			直通 086-803-1251			

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	妊婦のための支援給付					
事業の趣旨・目的	妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と一体的に行う経済的支援として、「妊婦のための支援給付金」を支給します。					
事業の概要	【事業内容】 妊娠届出後に「妊婦のための支援給付金」を現金給付 (令和6年度までは、「出産・子育て応援給付金」) <対象者> 市内に住民票のある方で、妊娠の届出をした方 <支給額> 妊婦1人あたり 5万円 妊娠している子ども1人あたり 5万円					
事業費 (前年度当初予算額)	520,000 千円 (530,000 千円)	財源内訳	国県支出金	515,832 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(520,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	4,168 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1251	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	不妊治療費助成事業					新規
事業の趣旨・目的	不妊に悩む方々が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることなく、安心して不妊治療を受けられるよう、不妊治療費の一部を助成します。					
事業の概要	【事業内容】 不妊治療費の自己負担額の一部を助成 <対象者> 健康保険適用の不妊治療(生殖補助医療)を受けている方 <助成額> 生殖補助医療のために支払った健康保険適用後の自己負担額 ※1回の治療につき、10万円を上限					
事業費 (前年度当初予算額)	50,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	25,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(50,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	25,000 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1251	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	性と健康の相談センター					新規
事業の趣旨・目的	予期せぬ妊娠をはじめとして妊娠・出産、性の悩みに関する相談先として、アウトリーチを含めた365日対応可能な相談体制を整備します。					
事業の概要	【事業内容】 妊娠・出産、性の悩み等の専門的な相談体制を整備 ・専門職による相談窓口を365日開設 ・若年妊婦やハイリスク妊婦に対する相談支援、アウトリーチの実施 ・不妊治療、不育症の相談支援 ・生殖や妊娠・出産、不妊治療等に係る正しい知識等の普及啓発					
事業費 (前年度当初予算額)	8,350 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	4,175 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(8,500 千円)		地方債	0 千円	一般財源	4,175 千円
担当課	保健管理課	連絡先		内線 5750		
担当者	課長 森 公造			直通 086-803-1251		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	子ども医療費助成事業					
事業の趣旨・目的	子どもの医療費の全部または一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに、児童福祉の向上を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 子ども医療費助成の実施 ・乳幼児、小学生の通院及び入院医療費を全額助成(自己負担 無料) ・中学生、高校生の通院医療費を一部助成(自己負担 1割) ・中学生、高校生の入院医療費を全額助成(自己負担 無料) 2. 中学生、高校生の特定医療に対する通院医療費助成の実施 ・小児慢性特定疾病 ・自立支援医療(育成医療・更生医療・精神通院医療) ・指定難病 ※高校生とは、在学の有無に関わらず18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者					
事業費 (前年度当初予算額)	3,609,000 千円 (3,398,300 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	500,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,632,742 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,109,000 千円
担当課	医療助成課	連絡先		内線 5720		
担当者	課長 池永 亨			直通 086-803-1219		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	困難を抱えるこどもとその家庭への支援					拡充	
事業の趣旨・目的	こどもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの学習サポート事業 生活困窮世帯のこどもへの学習支援、保護者への生活環境改善等に関する支援 (1)通所型 市内全区の会場で中学生を中心に学習支援を実施 (2)訪問・遠隔型 タブレット端末を貸し出し、訪問とオンラインを組み合わせで支援 2. 子どもの居場所づくり促進事業 子どもの居場所づくり相談窓口、立ち上げ補助、アドバイザー派遣、支援情報配信等 3. 岡山市奨学金給付事業 市民税所得割非課税世帯等の高校生に奨学金を給付 4. 養育費履行確保支援事業 相談会の開催、養育費の取決めや保証契約締結の支援 5. 就学援助費等支給事業 経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に学用品等の就学援助費等を支給 6. 社会的養護自立支援拠点事業 社会的養護経験者等の生活や就労等を支援 7. ファミリーサポート事業 困難を抱える家庭の利用料の一部を支援【拡充】 						
事業費 (前年度当初予算額)	1,000,314 千円 (1,096,460 千円)	財源内訳	国県支出金	106,991 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(1,098,519 千円)		地方債	0 千円	一般財源	893,323 千円	
担当課	こども福祉課	内線	4780	担当課	生活保護・自立支援課	内線	5940
担当者	課長 藤原 奈津子	直通	086-803-1221	担当者	課長 出原 晋一郎	直通	086-803-1349
担当課	教育委員会事務局就学課	内線	3880	担当課	地域子育て支援課	内線	4758
担当者	課長 山本 泰弘	直通	086-803-1587	担当者	課長 梅垣 浩久	直通	086-803-1589

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	児童虐待防止の推進						
事業の趣旨・目的	こどもの権利擁護のため、虐待からこどもを守る体制を整備し、児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>国の補助制度を活用しながら、下記事業の実施により、児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SNS活用相談支援事業 こどもや保護者がSNSを通じて相談できる環境の整備 2. 虐待通告等電話相談受付事業 休日夜間における虐待通告や養育相談等の受付体制の整備 3. 子育て世帯訪問支援事業 支援の必要な家庭等に対する家事援助等の支援 4. 子育て家庭見守りサポート体制構築事業 地域のNPO法人等と連携し、地域での支援・見守り体制を強化 5. 法的対応機能強化事業 一時保護時の司法審査及び困難事例の対応における、弁護士の助言体制の整備 6. 子どもの権利擁護推進事業 第三者の意見聴取により、こどもの意見を尊重した支援の推進 						
事業費 (前年度当初予算額)	50,243 千円 (85,700 千円)	財源内訳	国県支出金	24,223 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(50,243 千円)		地方債	0 千円	一般財源	26,020 千円	
担当課	こども福祉課	内線	4780	担当課	こども総合相談所	内線	5592
担当者	課長 藤原 奈津子	直通	086-803-1223	担当者	所長 宮野 美保子	直通	086-803-2525

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	里親養育包括支援(フォスタリング)事業					新規
事業の趣旨・目的	社会的養護が必要な児童の家庭的養育を進めていくため、里親の普及啓発などで民間の資源を活用できるよう、里親に関する業務の一部について民間委託を実施します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>こどもの健やかな成長に必要な家庭的養育環境を整え、里親等委託を進めるため、以下の事業について専門機関とも連携して推進</p> <p>(1)里親制度等普及促進・リクルート事業 里親制度等の広報活動を行うことで、里親等に関する社会の理解を広め、養育しやすい環境を整えるとともに、養育里親を開拓</p> <p>(2)里親研修・トレーニング等事業 里親登録に必要な研修に加えて、こどもを委託後の里親や未委託の里親に対して研修を実施し、養育の質を確保するとともに、委託可能な里親を育成</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	16,300 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	8,150 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(16,810 千円)		地方債	0 千円	一般財源	8,150 千円
担当課	こども総合相談所		連絡先		内線 5592	
担当者	所長 宮野 美保子				直通 086-803-2525	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	障害児保育対策事業					拡充
事業の趣旨・目的	障害児の受入れのための体制を整備する保育園等に支援を行うことで、障害児の保育環境及び処遇の向上を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>障害児保育対策事業補助金 職員配置基準に加えて保育士を配置するための補助を拡充</p> <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>補助対象経費の拡充 障害児2人に対して、保育士1人を配置するために必要な経費 各施設で保育士確保が可能となる補助金額に拡充</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	519,000 千円 (435,000 千円)	財源内訳	国県支出金	21,940 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(464,951 千円)		地方債	0 千円	一般財源	497,060 千円
担当課	保育・幼児教育課		連絡先		内線 4720	
担当者	課長 富岡 博之				直通 086-803-1228	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	障害児保護事業(児童発達支援・放課後等デイサービス)					拡充
事業の趣旨・目的	障害児に対する児童発達支援や放課後等デイサービスを通じて、こどもの最善の利益の保障と健全な育成を図ります。					
事業の概要	<p>【主な事業内容】</p> <p>1. 児童発達支援 <対象> 未就学の障害児 <内容> 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを支援</p> <p>2. 放課後等デイサービス <対象> 学校(幼稚園及び大学を除く)に就学している障害児 <内容> 授業の終了後又は休校日に、生活能力向上のための必要な訓練、社会との交流促進などを支援</p> <p>【R7年度予算のポイント】 重度の障害児に対する家族負担を軽減するため、医療的ケア児、強度行動障害児について、必要に応じて、最大支給日数を13日から23日に拡充</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	6,196,000 千円 (5,682,000 千円)	財源内訳	国県支出金	4,647,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(6,309,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,549,000 千円
担当課	障害福祉課		連絡先		内線 5730	
担当者	課長 中西 貴子				直通 086-803-1235	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	医療的ケア児等の受入体制の整備					拡充
事業の趣旨・目的	保育園・認定こども園・幼稚園において、医療的ケアを必要とするこどもの受入ができる体制を整備します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 市立園において、医療的ケア実施体制を確保【拡充】 保護者の付き添いなしで受入可能となるよう、看護師の配置や訪問看護ステーションへの委託による対応を実施</p> <p>2. 医療的ケア児保育支援事業補助金 医療的ケア児を受け入れる民間保育施設に対する補助</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	52,684 千円 (28,109 千円)	財源内訳	国県支出金	19,715 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(58,333 千円)		地方債	0 千円	一般財源	32,969 千円
担当課	幼保運営課		担当課		保育・幼児教育課	
担当者	課長 河本 則彦		担当者		課長 富岡 博之	
	内線 4710		内線		4720	
	直通 086-803-1225		直通		086-803-1228	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	女性が輝くまちづくり事業					拡充
事業の趣旨・目的	女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 女性活躍推進事業 認証企業制度の普及啓発 2. 女性活躍に向けたトータルサポート事業 女性が活躍し、男女ともに働きやすくするためのセミナーの実施 3. 女性の就労支援事業 (1)デジタルスキルを習得するためのオンライン講座等の実施【拡充】 (2)女性起業家の育成支援に向けたワークショップ等の実施【新規】 4. 大学生のためのキャリア形成応援事業 大学生を対象に、ロールモデルの体験を基に仕事と家庭生活の両立をイメージしてもらい、働き続ける意識の向上を図るための出前講座の実施 5. 困難を抱える女性への支援事業 困難を抱える女性を対象に、電話及びSNS相談、居場所づくりなどのきめ細やかな支援の実施					
事業費 (前年度当初予算額)	16,160 千円 (14,720 千円)	財源内訳	国県支出金	8,829 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(17,469 千円)		地方債	0 千円	一般財源	7,331 千円
担当課	女性が輝くまちづくり推進課		連絡先		内線 3735	
担当者	課長 大下 奈美枝				直通 086-803-1115	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト					
事業の趣旨・目的	大学生等が、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組を支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを目指します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 活動経費補助 (1)対象者 学校教育法に基づく大学、短期大学、専門学校に在学する、単一の大学等の学生3名以上と教職員を代表としたグループ (2)対象事業 岡山市または連携中枢都市圏の連携市町の課題解決のための取組や、小規模ビジネスにチャレンジする取組 2. 中間報告会や活動報告会の実施 活動の進捗等の共有や参加学生間の交流を目的として、中間報告会や活動報告会を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	7,300 千円 (7,300 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(7,300 千円)		地方債	0 千円	一般財源	7,300 千円
担当課	政策企画課		連絡先		内線 3587	
担当者	地方創生・政策調整担当課長 串間 由佳				直通 086-803-1043	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	魅力ある授業づくり推進事業					
事業の趣旨・目的	学力調査や質問調査を効果的に活用して学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、第2期岡山市教育大綱で目指す「5つの力」を育成します。また、客観的に生徒の英語力を把握することで、英語力の向上を目指します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学びづくり推進プロジェクト <ol style="list-style-type: none"> 学力調査及び質問調査の活用 結果分析をもとにした児童生徒理解による授業改善や、学級集団づくりの推進 デジタル採点システムの活用 採点時間を短縮することで教材研究・生徒と向き合う時間が増加 英語教育推進事業 <ol style="list-style-type: none"> 小・中・義務教育学校への外国語指導助手の配置 外国語指導助手とのチームティーチングによる外国語指導の充実 英語力測定試験の実施 客観的な生徒の英語力把握による、教員の指導改善及び生徒の学習意欲の向上 <p>【R7年度予算のポイント】 デジタル採点システムを継続して活用することで、教材研究・生徒と向き合う時間を増やし、よりきめ細やかな指導につなげる</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	256,000 千円 (265,500 千円)	財源内訳	国県支出金	20,931 千円	その他	283 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(261,909 千円)		地方債	0 千円	一般財源	234,786 千円
担当課	教育委員会事務局学校指導課		連絡先		内線 3843	
担当者	課長 西山 径				直通 086-803-1591	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業					
事業の趣旨・目的	子どもたちが、安心して学校生活を送れるように、支援を必要とする子どもやその保護者に対して、相談や援助を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生徒指導関係事業 質問紙を使って、子どもの適応感を把握し、学級づくりに活用するなど、すべての子どもたちの健全な成長を促し、現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成に向けた政策を計画・実施 特別支援教育支援員配置事業 障害のある児童生徒のために、学習・移動支援などで学校生活をサポート 不登校児童生徒支援員配置事業 不登校の未然防止を図るため、別室登校等の児童生徒の支援を実施 スクールカウンセラー配置事業 いじめ、不登校等の課題に対し、児童生徒や保護者が相談しやすい体制を構築 一人ひとりに寄り添う居場所づくり推進事業 特別支援教育や不登校支援の専門家を学校に派遣し、不登校児童生徒や不登校傾向がある児童生徒に対して、それぞれの学びの場所に適したアセスメントを実施 					
事業費 (前年度当初予算額)	481,370 千円 (475,054 千円)	財源内訳	国県支出金	43,288 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(492,818 千円)		地方債	0 千円	一般財源	438,082 千円
担当課	教育委員会事務局教育支援課		連絡先		内線 3845	
担当者	課長 竹中 茂樹				直通 086-803-1592	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	部活動地域展開モデル事業						
事業の趣旨・目的	将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことのできる機会を確保するとともに、学校における働き方改革も推進します。						
事業の概要	【事業内容】 1.指導者派遣モデル事業 一般社会人や大学生を指導者として派遣 2.競技団体モデル事業 競技団体から指導者を派遣 3.地域クラブモデル事業 部活動ではなく、地域クラブとして地域指導者が指導 4.ニュースポーツモデル事業 部活動にない競技やニュースポーツ等を体験できる場を提供 5.部活動指導員配置事業 部活動指導員をモデル中学校に集中配置						
事業費 (前年度当初予算額)	20,336 千円 (20,339 千円)	財源内訳	国県支出金	7,121 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(22,440 千円)		地方債	0 千円	一般財源	13,215 千円	
担当課	スポーツ振興課	内線	4736	担当課	教育委員会事務局保健体育課	内線	3850
担当者	部活動地域移行担当課長 片岡 保夫	直通	086-803-1614	担当者	課長 松岡 恭一郎	直通	086-803-1594

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校給食費管理運営事業 拡充					
事業の趣旨・目的	教職員が本来の専門性をいかし、子ども一人一人と向き合う時間等を確保するため、教育委員会が学校給食費を集金し学校給食を運営します。					
事業の概要	【事業内容】 1.徴収方法 学校給食費を公会計化し、教育委員会が、保護者から直接徴収し管理 2.デジタル技術の活用 保護者の利便性向上、手続きの簡素化のため、給食への申込、口座登録、納付決定通知書を原則ペーパーレス化してオンラインで申請及び通知 【R7年度予算のポイント】 保護者負担の軽減のため、燃料費等その他経費を公費で負担【拡充】 ※ 米価格の高騰に伴う保護者負担の軽減策については、令和6年度国補正予算による交付金等を活用し、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しての実施を予定しています。					
事業費 (前年度当初予算額)	3,913,600 千円 (3,583,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	3,571,473 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(4,055,532 千円)		地方債	0 千円	一般財源	342,127 千円
担当課	教育委員会事務局保健体育課			内線 3850		
担当者	課長 松岡 恭一郎			連絡先 直通 086-803-1595		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校特別教室空調設備整備事業					
事業の趣旨・目的	近年の異常気象・異常高温への対策として、児童生徒及び教職員の健康面に配慮するとともに、より授業に集中できる学習環境及び教職員の職場環境の改善を目的に、小中学校の特別教室へ空調設備を整備します。					
事業の概要	【事業内容】 小中学校の特別教室への空調設備整備 ・整備期間 令和6年度～令和7年度 ・令和7年夏前までに供用開始予定					
事業費 (前年度当初予算額)	1,967,353 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	1,053 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(4,977,800 千円) (1,967,353 千円)		地方債	1,966,300 千円	一般財源	0 千円
担当課	教育委員会事務局学校施設課		連絡先		内線 3807	
担当者	課長 幸 勲治				直通 086-803-1576	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	中学校体育館空調設備整備事業					新規
事業の趣旨・目的	教育活動の円滑化、熱中症予防の促進を図り、さらに避難所の環境改善にも資することから、中学校の体育館へ空調設備を整備します。					
事業の概要	【事業内容】 発注者支援業務委託 中学校体育館への空調設備の整備に必要な発注者業務(事業者の受注能力・入札参加意欲の調査、公募書類の作成等)を補助する業務委託 ・令和9年夏前までの供用開始を目指す					
事業費 (前年度当初予算額)	10,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	10,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(0 千円) (0 千円)		地方債	0 千円	一般財源	0 千円
担当課	教育委員会事務局学校施設課		連絡先		内線 3807	
担当者	課長 幸 勲治				直通 086-803-1576	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校給食施設再整備事業					
事業の趣旨・目的	将来にわたって安全で安心な学校給食を安定的、継続的に提供するため、学校給食施設の再整備を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新岡山学校給食センター(仮称)整備事業 現岡山学校給食センター(中区赤田)が建築後約50年を経過し老朽化しており、PFI手法の活用により、中区海吉地区に新岡山学校給食センター(仮称)を整備 令和8年2学期～:新給食センター供用開始 2. 建部学校給食センター安全対策事業 老朽化し、耐震性能を満たしていない建部学校給食センターの安全対策を早期に講じるため、御津学校給食センターから建部地区へ給食を配送するよう再整備 3. 学校給食施設再整備計画策定 計画的かつ円滑に給食調理場の再整備を推進するための全体計画を策定 					
事業費 (前年度当初予算額)	1,692,350 千円 (178,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,706,521 千円)		地方債	1,512,400 千円	一般財源	179,950 千円
担当課	教育委員会事務局保健体育課		連絡先		内線 3850	
担当者	課長 松岡 恭一郎				直通 086-803-1595	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	GIGAスクール構想によるICT活用支援事業					
事業の趣旨・目的	GIGAスクール構想で学習者用端末を配備している学校に対して、ICTのさらなる活用を促進するための運用支援や人的支援を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習者用端末などのICT活用の促進に向けた環境の充実 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現するためのツールや校内のWi-Fi環境の充実により、端末の円滑な活用を推進するとともに、教員の負担を軽減 2. 学校のICT活用をサポートする体制の強化 ICT活用のサポート、端末やネットワークのトラブルに対処するサポートデスクチームの構成などにより、学校からのニーズに迅速かつ丁寧に対応 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末の活用を促進するICT環境充実 デジタルAIドリルと学習支援ソフトの利用とオンラインを活用したサポート体制、及び可搬型ルータの導入による校内Wi-Fi環境の充実 ・校務DXの推進 指定校による生成AIを活用する業務や活用方法等の事例を創出 					
事業費 (前年度当初予算額)	447,000 千円 (454,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	1,800 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(475,126 千円)		地方債	8,600 千円	一般財源	436,600 千円
担当課	教育委員会事務局教育研究研修センター		連絡先		直通 086-944-7255	
担当者	所長 村尾 剛介					

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山市教育センター(仮称)整備事業					
事業の趣旨・目的	子どもたちの成長を支えるために、教職員の資質向上や産学官連携による研究推進など、さまざまな機能を有する新しい教育センターの整備を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施設計 2. 本体工事 3. スケジュール 令和5～7年度 設計 令和7～8年度 本体工事 令和8年度の供用開始予定 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務に伴う手数料及び委託料 ・本体工事に伴う工事請負費及び工事監理委託料 					
事業費 (前年度当初予算額)	845,000 千円 (47,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(914,259 千円)		地方債	91,500 千円	一般財源	753,500 千円
担当課	教育委員会事務局教育研究研修センター		連絡先	直通 086-944-7255		
担当者	所長 村尾 剛介					

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	夜間中学運営事業					
事業の趣旨・目的	義務教育を受けることができなかった方に対する学ぶ機会の保障に取り組みます。令和7年度に岡山後楽館中学校に開設する「夜間中学」の運営支援等を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周知・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットなどを作成し啓発活動を実施 ・入学説明会を開催(岡山後楽館中学校と共同実施) 2. 運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学の運営に必要な備品等の調達 					
事業費 (前年度当初予算額)	8,130 千円 (8,000 千円)	財源内訳	国県支出金	1,223 千円	その他	254 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(8,199 千円)		地方債	0 千円	一般財源	6,653 千円
担当課	教育委員会事務局就学課		連絡先	内線 3883		
担当者	課長 山本 泰弘		直通 086-803-1588			

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山中央中学校区公民館(仮称)整備事業						
事業の趣旨・目的	「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき、耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない公民館の整備を実施します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>岡山中央中学校区公民館(仮称)建設事業</p> <p>旭公民館が老朽化し、未耐震のため、岡山中央中学校武道場との複合化による新たな公民館整備を実施</p> <p>[整備期間]令和3年度～令和7年度（令和8年3月開館予定）</p> <p>[整備規模]鉄骨造3階建</p>						
事業費	430,000 千円	財源内訳	国県支出金	130,900 千円	その他	0 千円	
(前年度当初予算額)	(1,158,827 千円)		地方債	230,500 千円	一般財源	68,600 千円	
(今年度当初要求額)	(431,669 千円)						
担当課	教育委員会事務局生涯学習課	内線	3860	担当課	教育委員会事務局学校施設課	内線	3807
担当者	課長 永井 正博	直通	086-803-1608	担当者	課長 幸 勲治	直通	086-803-1576

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域活動支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	町内会に対する物品購入費への支援等により、町内会が抱える地域活動の負担感と担い手の減少という課題の解決を図ります。					
事業の概要	※ 町内会が行う地域での作業負担の軽減等のための補助制度及びコミュニティ活動推進備品助成事業補助金については、令和6年度国補正予算による交付金等を活用し、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しての実施を予定しています。					
事業費 (前年度当初予算額)	0 千円 (5,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(5,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	0 千円
担当課	市民協働企画総務課		連絡先		内線 3270	
担当者	課長 兒子 憲人				直通 086-803-1031	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの理解促進と新たな実践行動に繋ぐため、SDGsの学びの場や機会を設けます。また、ESDの啓発活動や活動団体の支援によりESD活動の拡大と質の向上に取り組み、ESDを推進することでSDGsの達成に貢献します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> SDGs未来都市推進事業 <ol style="list-style-type: none"> 「未来わくわくSDGsフェスタ」(SDGs啓発イベントの実施) SDGs守ろう！海・川プロジェクト事業の実施 「岡山市SDGs推進パートナーズ」登録事業者向けSDGs研修等の実施 おかやまSDGsフェアへの協力 岡山ESDプロジェクト推進事業 <ol style="list-style-type: none"> グローバルRCE会議の開催【新規】 岡山ESDプロジェクト参加団体団体の活動に対する補助 ESDコーディネーター研修の実施 ESD岡山アワードの実施 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>岡山のESD活動20年の成果や課題・今後の展望を共有するグローバルRCE会議の開催などを通じて、SDGs達成に貢献するESDの取組を引き続き推進</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	83,000 千円 (33,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	50 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(33,560 千円)		地方債	0 千円	一般財源	82,950 千円
担当課	SDGs・ESD推進課		連絡先		内線 3761	
担当者	課長 服部 敬子				直通 086-803-1351	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	区のまちづくりの推進						
事業の趣旨・目的	身近なまちづくりを推進するために、区民と行政が協働しながら、地域課題の解決に取り組めます。また、それぞれの区の地域資源や特色をいかした魅力発信を行います。						
事業の概要	【事業内容】 1. 北区 ・北区の魅力・情報発信事業 ・公民館を活用した講座等の実施による防犯等対策事業 2. 中区 ・地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業 ・中区の魅力発見・発信事業 3. 東区 ・東区の魅力発信・地域連携事業 4. 南区 ・南区地域防災力強化事業						
事業費	14,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円	
(前年度当初予算額)	(13,500 千円)		地方債	0 千円	一般財源	14,000 千円	
(今年度当初要求額)	(14,123 千円)						
担当課	北区役所総務・地域振興課	内線	4190	担当課	中区役所総務・地域振興課	内線	71-212
担当者	課長 黄江 尚子	直通	086-803-1655	担当者	課長 牧野 浩之	直通	086-901-1601
担当課	東区役所総務・地域振興課	内線	72-211	担当課	南区役所総務・地域振興課	内線	73-310
担当者	課長 篠田 由美子	直通	086-944-5006	担当者	課長 岩田 裕久	直通	086-902-3500

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	健康寿命延伸事業					拡充
事業の趣旨・目的	運動、栄養・食生活、社会参加の改善・促進など、健康的な生活習慣の普及・定着を通して、市民の健康寿命の延伸を目指します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1.「OKAYAMAハレ活プロジェクト」【拡充】</p> <p>(1)幅広い分野における市民の活動(運動、栄養・食生活)、社会参加といった健康的な取組に対して健康ポイント(インセンティブ)を付与</p> <p>(2)参加者数の増加、アプリ起動率の上昇に向けた取組を実施</p> <p>(3)連携中枢都市圏内で広域的な事業推進のため、WEBサービスを活用したウォークラリーを実施</p> <p>2.「ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト」</p> <p>(1)令和6年8月から実施している、健康市民おかやま21(第3次)の主要事業</p> <p>(2)事業推進に協力する登録店舗数の増加など、取組の浸透に向けた事業を実施</p> <p>(3)取組継続のための仕組みづくりとして、協力店の利用促進イベントの実施など、官民連携で自然と野菜を摂取できる環境を整備</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	79,000 千円 (80,600 千円)	財源内訳	国県支出金	27,447 千円	その他	23,657 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(80,588 千円)		地方債	0 千円	一般財源	27,896 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1250	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	带状疱疹ワクチン接種事業					新規
事業の趣旨・目的	定期接種に位置付けられる带状疱疹ワクチンについて、高齢者の重症化予防やQOLの低下を防ぐため、接種に要する負担額を軽減し、必要な方が接種できる環境を整備します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>带状疱疹ワクチン定期接種を実施</p> <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳の方 ・60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方 ・70歳以上の5歳刻みの年齢の方(70、75、80、85、90、95、100歳以上)※ <p>※5年間の経過措置</p> <p><自己負担額></p> <p>組換えワクチン 11,080円(非課税世帯:5,540円、生活保護世帯等:無料)</p> <p>生ワクチン 4,480円(非課税世帯:2,240円、生活保護世帯等:無料)</p> <p>(組換えワクチンは、2回の接種が必要)</p> <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>定期接種化を望む声が多かった带状疱疹ワクチンがR7年度から定期接種化されることを受け、必要な方が接種できるよう、負担額を軽減して実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	234,776 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	107,355 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(111,951 千円)		地方債	0 千円	一般財源	127,421 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1251	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	フレイル対策事業					
事業の趣旨・目的	高齢者が要介護状態に陥ることの予防を目的に、薬局など市民の身近な場所でフレイル健康チェックを実施し、介護予防の取組につなげます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 薬局など市民の身近な場所でフレイル健康チェックの機会の提供 2. 専門職がチェックの結果を元に、個々の状態に応じたアドバイス・指導や介護予防の取組先(地域資源)を提供 3. フレイル予防に関する周知・啓発					
事業費 (前年度当初予算額)	6,680 千円 (8,180 千円)	財源内訳	国県支出金	2,505 千円	その他	3,340 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(6,686 千円)		地方債	0 千円	一般財源	835 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5985	
担当者	課長 瀧上 正康				直通 086-803-1256	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	終活支援事業					新規
事業の趣旨・目的	高齢者自身と周囲の支援者に人生の最終段階に向けた備えをしてもらうため、終活に関する支援を実施します。					
事業の概要	【事業内容】 1. エンディングノート(冊子)の作成、配布 包括支援センターや公民館等の窓口で市作成のエンディングノートを配布 (1)高齢者が、自分自身に関する様々な情報を自己決定のもとでエンディングノートに書き記すことにより、人生の最終段階を安心して迎えられるよう支援 (2)終活に関わる各種制度の説明や、市部署・相談先情報を掲載予定 2. 広報活動 市HPやチラシ配布を通じて、市民の方に広く終活の必要性を周知し、多くの方に終活について考え、取り組んでもらう環境づくりを実施					
事業費 (前年度当初予算額)	2,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	2,000 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5985	
担当者	課長 瀧上 正康				直通 086-803-1256	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	支え合い活動の推進					拡充
事業の趣旨・目的	外出に課題を抱える高齢者が社会とのつながりを保てるよう、住民互助による移動支援の活動を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 担い手不足の解消や活動の継続につなげるための支援を実施 <ol style="list-style-type: none"> 自動車保険の保険料の助成 活動向上のための研修会等の受講費用の助成 活動団体の活動の立ち上げや継続につながるよう支援を実施 <ol style="list-style-type: none"> 団体のボランティアの人件費の助成 活動に必要な事務経費の助成 地域へアドバイザーを派遣 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成団体数を増加 助成額(人件費)を拡充 					
事業費 (前年度当初予算額)	3,550 千円 (1,170 千円)	財源内訳	国県支出金	1,331 千円	その他	1,775 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,554 千円)		地方債	0 千円	一般財源	444 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5985	
担当者	課長 瀧上 正康				直通 086-803-1256	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	すこやか住宅リフォーム助成事業					拡充
事業の趣旨・目的	高齢者等の居宅生活における自立助長及び介助者の負担軽減を図るため、居住する住宅を改修する場合に費用の一部を助成します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>身体的機能が低下した高齢者や重度身体障害者が、自宅において暮らしやすい生活を送れるように住宅を改修する費用の一部を助成</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象者の拡充 介護保険の第2号被保険者を追加 助成率の見直し 介護保険又は障害者日常生活用具の住宅改修負担割合に応じて算定 助成率3/5等から9/10～7/10に拡充 上限額の引き上げ 70万円(ただし、介護保険又は障害者日常生活用具の住宅改修を利用できる場合は50万円が上限) <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>市民の負担軽減を図るため、介護保険・障害福祉制度と助成率を合わせ、助成額の上限額を引き上げ</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	35,800 千円 (28,555 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(28,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	35,800 千円
担当課	福祉援護課		連絡先		内線 5450	
担当者	課長 松本 豊				直通 086-803-1216	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進					
事業の趣旨・目的	在宅介護に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 介護機器貸与モデル事業 在宅で生活する人の自立につながる介護機器を1割負担で貸与 高齢者活躍推進事業 介護事業所での就労的参加活動による生きがいづくり等を推進 ケアマネインセンティブ事業 利用者の状態の維持改善を図る居宅介護支援事業所を表彰 訪問介護インセンティブ事業 利用者の状態の維持改善を図る訪問介護事業所を表彰 総合特区推進に係る費用 国との協議に係る費用や事務費 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>在宅要介護者に焦点を当てたさまざまな事業を実施し、在宅介護の推進につなげる</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	33,328 千円 (41,440 千円)	財源内訳	国県支出金	14,436 千円	その他	11,501 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(33,500 千円)		地方債	0 千円	一般財源	7,391 千円
担当課	医療政策推進課		連絡先		内線 5820	
担当者	課長 金安 孝浩				直通 086-803-1638	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業					
事業の趣旨・目的	今後、高齢者等が増えることにより、需要の増加が見込まれる在宅医療の推進や在宅看取り等の普及啓発を医療・介護関係者と協働で進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護の地域連携推進事業 令和6年度に決まった取組を定着させるための事業を実施 地域別在宅医療・介護普及啓発事業 在宅医療・介護について地域の身近な医師等による市民向け普及啓発イベント ICT情報連携ツール活用推進事業 岡山市における共通の在宅医療・介護等のICT連携ツールの活用を推進 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じたモデル事業の定着、在宅医の増加を図る ・地域の実情に応じた在宅医療・介護の普及啓発を行う 					
事業費 (前年度当初予算額)	6,560 千円 (6,950 千円)	財源内訳	国県支出金	3,789 千円	その他	1,508 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(6,560 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,263 千円
担当課	医療政策推進課		連絡先		内線 5820	
担当者	課長 金安 孝浩				直通 086-803-1636	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	救急安心センター事業(#7119)					新規	
事業の趣旨・目的	市民が急な病気やケガをしたときに、医療機関の受診の要否などに迷った際、看護師等の専門家が電話で相談事業を行います。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 救急安心電話相談窓口運營業務</p> <p><開始時期> 令和7年10月1日から</p> <p><受付時間></p> <p>(1)平日 月曜から金曜までの午後7時から翌朝8時まで</p> <p>(2)土曜日 午後6時から翌朝8時まで</p> <p>(3)日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 午前8時から翌朝8時まで</p> <p>2. 普及啓発費用 ポスター、チラシ、マグネット、懸垂幕などの啓発グッズの作成</p>						
事業費 (前年度当初予算額)	13,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	3,613 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(0 千円)		地方債	0 千円	一般財源	9,387 千円	
担当課	医療政策推進課	内線	5820	担当課	救急課	内線	3778
担当者	課長 金安 孝浩	直通	086-803-1636	担当者	課長 長谷井 浩	直通	086-234-9967

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	認知症伴走型支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	認知症の進行による状況の変化やそれに悩む人とその家族に寄り添い、地域の人々の生活を応援するという伴走型の相談支援の取組を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>認知症対応型グループホーム等の介護サービス事業所を拠点とし、以下の業務を実施</p> <p>1. 認知症の人やその家族に対し、専門職ならではの日常生活上の工夫等の助言を実施</p> <p>2. 家族に対して、精神的・身体的負担の軽減につながるような効果的な介護方法や介護に対する不安解消に係る助言を実施</p> <p>3. 認知症状の段階によって生じる様々な相談に応じられるように、早期から継続的に伴走し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援</p> <p>【R7年度予算のポイント】 伴走型の相談支援拠点の拡充(2か所 → 4か所)</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	6,080 千円 (3,040 千円)	財源内訳	国県支出金	3,040 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(6,080 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,040 千円
担当課	高齢者福祉課	連絡先		内線	5960	
担当者	課長 森 博臣			直通	086-803-1230	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	障害者就労支援事業					
事業の趣旨・目的	障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者とその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、一般就労と職場定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 障害者一般就労支援事業の実施 ・障害者を雇用する企業、職場実習の受け入れ企業の開拓 ・障害者雇用伴走型支援(求人作成支援、職場実習支援、採用活動支援等) 2. 障害者一般就労定着支援事業の実施 ・働く障害者のための交流拠点事業 3. 障害者工賃向上支援事業の実施 ・障害者製作商品販売等事業 ・工賃(賃金)向上にかかるセミナー等の開催 ・発注企業と受注事業所をつなぐ「お仕事マッチングサイト」の利用					
事業費 (前年度当初予算額)	38,940 千円 (41,000 千円)	財源内訳	国県支出金	4,500 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(41,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	34,440 千円
担当課	障害福祉課		連絡先		内線 5730	
担当者	課長 中西 貴子				直通 086-803-1234	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲)					拡充
事業の趣旨・目的	複雑化・複合化した課題を抱えた世帯に対して、市の関係課・相談機関が連動して支援を行う総合相談支援体制づくりに加えて、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することで、地域共生社会のさらなる推進を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 包括的相談支援事業【拡充】 相談者の属性に関わらず包括的に相談を受け止め適切なサービスを提供 2. 参加支援事業 若者から高齢者まで幅広い層を対象とし、個々の課題やニーズに応じて就労や通いの場など、社会とのつながりが定着するまでの支援を実施 3. 地域づくりに向けた支援事業【拡充】 社会参加の場や地域で受け止めるための環境整備、受け皿の充実を促進 4. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 就労準備段階からの訪問活動等を通じた伴走型支援を実施 5. 多機関協働事業 相談支援包括化推進員を配置し、複雑・複合課題を抱える世帯への支援を継続実施 6. 支援プランの作成 個別支援プランを作成し、支援方針決定や進捗確認を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	1,893,611 千円 (1,811,110 千円)	財源内訳	国県支出金	1,176,330 千円	その他	274,899 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,902,922 千円)		地方債	0 千円	一般財源	442,382 千円
担当課	保健福祉企画総務課(他10課)		連絡先		内線 5806	
担当者	課長 松岡 高志				直通 086-803-1204	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	戦後80年記念事業					拡充
事業の趣旨・目的	令和7年度は戦後80年を迎える節目の年であり、次の世代へ戦争の記憶・記録を継承するための記念事業を実施します。					
事業の概要	【事業内容】 1.岡山市戦没者追悼式 戦死者並びに戦災死者の顕彰と哀悼の意を表すため、毎年6月29日に実施 2.戦後80年記念催事【新規】 平和記念の主事業と位置づけ、岡山市戦没者追悼式前に講演会等記念催事を開催 3.戦災の記録と写真展【拡充】 戦後80年にテーマを合わせた特別展を6月に開催 4.平和関連連続講座【拡充】 「戦災の記録と写真展」の開催等に合わせ、戦争の記憶を辿る連続講座を実施 5.戦災記録事業【拡充】 「岡山空襲爆撃中心点」記録プレート、「戦災樹木」看板等を設置 6.岡山っ子平和メッセージ【新規】 市内小・中学校等から募集した平和メッセージを催事等で通年放映					
事業費 (前年度当初予算額)	15,300 千円 (9,360 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(15,342 千円)		地方債	0 千円	一般財源	15,300 千円
担当課	福祉援護課		連絡先		内線 5450	
担当者	課長 松本 豊				直通 086-803-1218	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	生活困窮者等自立支援事業(再掲)					拡充
事業の趣旨・目的	生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人を対象に自立に向けた支援を行います。					
事業の概要	【事業内容】 1.生活困窮者自立相談支援事業【拡充】 ワンストップ型の相談窓口により、一人ひとりの状況に応じた支援計画を作成し、生活保護に至る前の段階から早期に支援(居住支援機能を強化) 2.住居確保給付金の支給【拡充】 離職や休業等で住居を失うおそれのある方等へ家賃相当額、転居費用を支給 3.就労支援事業 一人ひとりの特性や状況に応じた複数の事業を展開し、就労や社会参加に向けたきめ細かな支援を実施 4.一時生活支援事業 住居を持たない生活困窮者に対して衣食住の提供や自立に向けた支援を実施 5.家計改善支援事業 自立のために家計収支全体の改善や家計管理能力の向上の支援を実施 6.子どもの学習支援事業(通所型及び訪問・遠隔型の事業を実施) 学習支援により、基礎学力の向上を図るとともに、生活に関する支援も実施					
事業費 (前年度当初予算額)	370,560 千円 (409,600 千円)	財源内訳	国県支出金	251,085 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(389,900 千円)		地方債	0 千円	一般財源	119,475 千円
担当課	生活保護・自立支援課		連絡先		内線 5940	
担当者	課長 出原 晋一郎				直通 086-803-1349	

事務事業名	野犬対策事業					
事業の趣旨・目的	野犬の捕獲促進に伴う収容頭数の増加に対応するため、収容から譲渡までの体制を強化し、「殺処分ゼロ」を継続します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 野犬の捕獲促進及び一時収容施設の維持管理 2. 収容犬の飼養管理から譲渡までの体制構築 収容犬の飼養管理・譲渡委託 3. 野犬の人馴れ訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) 野犬の人馴れ訓練委託の拡充 (2) 譲渡促進に向けた企業との協働譲渡会の開催 4. ボランティア支援 野犬捕獲・譲渡協働ボランティアに対し支援物資を提供 5. いのちの大切さを考える教室 人馴れ訓練犬を活用した情操教育の実施 <p>【R7年度予算のポイント】 クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した財源確保</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	45,000 千円 (38,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	9,750 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(45,396 千円)		地方債	0 千円	一般財源	35,250 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5765	
担当者	生活衛生担当課長 三瀬 博也				直通 086-803-1276	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	安全・安心なまちづくりの取組					新規
事業の趣旨・目的	犯罪や交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進するため、地域における自主的な防犯活動への取組を支援するとともに、学校内における児童生徒の安全を確保し、子どもの教育環境を守るため、全ての市立学校に防犯カメラを設置します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>学校防犯対策事業【新規】 全市立学校に防犯カメラ等を設置</p> <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>市立学校への防犯カメラ、録画装置、モニターの設置</p> <p>※ 防犯カメラ設置支援事業及び防犯灯設置支援事業については、令和6年度国補正予算による交付金等を活用し、令和7年度当初予算から、令和6年度2月補正予算へ前倒しての実施を予定しています。</p>					
事業費	37,200 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(0 千円)		地方債	0 千円	一般財源	37,200 千円
(今年度当初要求額)	(0 千円)					
担当課	生活安全課	内線	3230	担当課	教育委員会事務局就学課	内線
担当者	課長 大谷 浩二	直通	086-803-1106	担当者	課長 山本 泰弘	直通
						3880
						086-803-1588

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	下水道・河川等による浸水対策事業					
事業の趣旨・目的	平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づき、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画的な下水道施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 浦安11号幹線(2工区)雨水管築造工事(延長約2.4km) 津島排水区万成ポンプ場等の設計 計画的な河川施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 山崎排水機場の建設工事 熊谷川排水機場の設備更新工事 市民・事業者の自助・共助の促進、意識啓発による地域防災の推進 <ul style="list-style-type: none"> 雨水流出抑制施設設置、雨水貯留タンク設置、止水板設置などの補助 市民への土のう配布、町内会への可搬式ポンプ貸与 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浦安11号幹線(2工区)雨水管築造工事(延長約2.4km)【令和12年度完成目標】 山崎排水機場の建設工事【令和7年度完成目標】 					
事業費	1,608,500 千円	財源内訳	国県支出金	492,650 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(2,376,000 千円)		地方債	953,300 千円	一般財源	162,550 千円
(今年度当初要求額)	(1,612,548 千円)					
担当課	下水道河川計画課			内線	4970	
担当者	課長 中村 義徳			連絡先		
				直通	086-803-1499	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新庁舎整備事業					
事業の趣旨・目的	本庁舎は建設から50年以上が経過し、老朽化が進むとともに、耐震基準も満たしていません。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、さらなる行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。					
事業の概要	【事業内容】 新庁舎の建設 <スケジュール> 令和4～8年度 新庁舎建設工事 令和8年度 新庁舎供用開始予定					
事業費 (前年度当初予算額)	12,740,000 千円 (11,802,300 千円)	財源内訳	国県支出金	822,804 千円	その他	1,196,396 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(12,740,320 千円)		地方債	10,720,800 千円	一般財源	0 千円
担当課	新庁舎整備課		連絡先		内線 3350	
担当者	課長 藤原 史朗				直通 086-803-1151	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新庁舎周辺施設整備事業					
事業の趣旨・目的	新庁舎の周辺施設として、大供公園・広場・駐車場を一体的に整備し、大供周辺に相応しい魅力あるまちづくりに寄与することを目指します。					
事業の概要	【事業内容】 デザインビルド手法による周辺施設(大供公園、広場、駐車場)の整備 <想定スケジュール> 令和7年度～8年度 事業者選定・契約手続き 令和8年度～10年度 周辺施設の基本・実施設計 令和9年度～13年度 旧本庁舎解体工事、周辺施設整備工事 令和14年度 周辺施設供用開始					
事業費 (前年度当初予算額)	15,290 千円 (26,400 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	8,730 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(15,290 千円)		地方債	0 千円	一般財源	6,560 千円
担当課	新庁舎整備課		担当課		庭園都市推進課	
担当者	課長 藤原 史朗		担当者		課長 永井 敏明	
	内線 3350				内線 3681	
	直通 086-803-1151				直通 086-803-1395	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	道路施設の長寿命化事業					
事業の趣旨・目的	道路施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える状況を鑑み、定期点検を実施し作成した個別施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・補修を行うことで、費用を低減・平準化するとともに、道路施設の長寿命化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 長寿命化修繕計画に基づく道路メンテナンスを実施 (1) 幹線舗装補修(延べ11.4km) (2) 橋梁長寿命化(定期点検:2,151橋、補修設計:19橋、橋梁補修:61橋)					
事業費 (前年度当初予算額)	2,271,600 千円 (2,173,900 千円)	財源内訳	国県支出金	880,825 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,278,180 千円)		地方債	1,091,200 千円	一般財源	299,575 千円
担当課	道路港湾管理課		連絡先		内線 3660	
担当者	課長 大山 浩史				直通 086-803-1416	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	用水路等転落防止対策事業					
事業の趣旨・目的	市民が用水路等へ転落することによる死傷事故が度々発生しており、用水路等の転落に対する安全対策を集中的に実施してきましたが、いまだ転落事故は発生しているため、引き続き危険箇所に対する安全対策を実施します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 用水路転落防止対策の実施 (1) 地元要望箇所 (2) 事故発生箇所 (3) 事故多発地域での重点的対策 2. 転落事故の割合が比較的多い高齢者に向けた注意喚起ビラを作成し、各町内、区役所、公民館などへ配布					
事業費 (前年度当初予算額)	110,000 千円 (54,700 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(111,135 千円)		地方債	0 千円	一般財源	110,000 千円
担当課	道路港湾管理課		担当課		農村整備課	
担当者	課長 大山 浩史		担当者		課長 金月 晃宏	
	内線 3660				内線 4570	
	直通 086-803-1416				直通 086-803-1348	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	住宅・建築物耐震改修等補助事業						拡充
事業の趣旨・目的	住宅や建築物の耐震化のため、建物所有者が耐震診断、補強計画、耐震改修等を行う費用を補助します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 住宅・建築物の耐震化等に必要な経費について補助 <ol style="list-style-type: none"> 木造住宅一般耐震診断等 建築物耐震診断 木造住宅耐震改修 要緊急安全確認大規模建築物耐震改修(補強設計含む) 要安全確認計画記載建築物耐震改修(補強設計含む) ブロック塀の撤去助成 その他耐震化の啓発に必要な経費等 <ul style="list-style-type: none"> 耐震化促進リーフレットの作成、岡山市耐震改修促進計画の見直し業務委託等 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>木造住宅耐震診断・補強計画・耐震改修の補助額及び受付件数の拡充</p>						
事業費 (前年度当初予算額)	248,000 千円 (100,000 千円)	財源内訳	国県支出金	198,160 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(249,045 千円)		地方債	0 千円	一般財源	49,840 千円	
担当課	建築指導課		連絡先		内線 4610		
担当者	課長 若松 達史				直通 086-803-1445		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	水道施設・管路耐震化等更新事業					
事業の趣旨・目的	市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新及び災害対策を推進し、安定供給の継続を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 激甚化・頻発化する災害に備えた水道施設・管路の強靱化 <ol style="list-style-type: none"> 本市基幹浄水場である三野浄水場の計画的更新・耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 三野浄水場浄水池ほか築造工事[整備期間 令和6年度～令和11年度] 三野浄水場特高変電所配電盤設置工事[整備期間 令和7年度～令和9年度] 大規模震災を見据えた配水幹線の強靱化 <ul style="list-style-type: none"> 官公庁や災害拠点病院等の災害時拠点施設へ至る管路の更新・耐震化 断水被害の軽減・復旧の迅速化を目的とした配水管網のブロック化 風水害に備えた水道施設の強靱化 <ul style="list-style-type: none"> 山浦浄水場非常用発電機設置工事[整備期間 令和6年度～令和7年度] 旭東浄水場非常用発電機設置工事[整備期間 令和7年度～令和9年度] 水道施設・管路の計画的更新 <p>アセットマネジメントに基づく効果的な水道施設・管路の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽管の更新 					
事業費 (前年度当初予算額)	9,823,000 千円 (8,216,000 千円)	財源内訳	国県支出金	12,498 千円	その他	1,208,089 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(10,265,013 千円)		地方債	3,500,000 千円	一般財源	5,102,413 千円
担当課	水道局経営管理課		連絡先		直通 086-234-5914	
担当者	課長 桜井 保秀					

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業					
事業の趣旨・目的	市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止等を未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 南海トラフ巨大地震等の発生に備えた下水道施設の耐震化及び老朽化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 平井排水センター、金岡ポンプ場、岡東ポンプ場の設備更新及び耐震化 錦ポンプ場、政津ポンプ場、平井排水センターの耐震・耐水化診断 緊急輸送道路等のマンホールの浮上防止対策工事 市街地の幹線管渠の耐震化・老朽化対策工事を計画的に実施 農業集落排水処理施設の統廃合の推進 <ul style="list-style-type: none"> 吉田地区の農業集落排水施設を公共下水道の近隣の処理区へ統廃合 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>処理場、ポンプ場の改築更新・耐震化及び管渠の耐震化・老朽化対策を計画的に実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	2,765,771 千円 (2,580,500 千円)	財源内訳	国県支出金	1,129,932 千円	その他	71,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,073,271 千円)		地方債	1,459,900 千円	一般財源	104,939 千円
担当課	下水道河川計画課		連絡先		内線 4970	
担当者	課長 中村 義徳				直通 086-803-1499	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域防災力強化事業					
事業の趣旨・目的	自主防災組織を中心とした地域防災活動への支援のほか、被災想定を踏まえた備蓄物資保管場所を確保し、地域の防災力強化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自主防災組織等育成事業 <ol style="list-style-type: none"> 自主防災組織の新規結成や訓練、学習会、個別避難計画の作成などの活動に要する経費の一部を助成 個別避難計画の作成やハザードマップの活用、避難所運営等についての理解、協力を得るための説明会等の開催 福祉事業者への個別避難計画の作成業務を委託 災害時の防災活動中の事故等に対する補償 備蓄倉庫等整備事業 <p>集中備蓄倉庫の新築工事(北区、中区、計2か所)</p> 					
事業費 (前年度当初予算額)	704,170 千円 (84,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(709,897 千円)		地方債	656,100 千円	一般財源	48,070 千円
担当課	危機管理室		連絡先		内線 5854	
担当者	地域防災担当課長 井上 義浩				直通 086-803-1082	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	緊急・防災情報システム整備事業					
事業の趣旨・目的	新庁舎整備に併せて緊急・防災情報システムを高度化、多重化し、避難情報発令の迅速化を図ることで、市民の早期避難につなげます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 緊急情報伝達システムの整備 (1) 統合卓発令判断支援システム、瀬戸音声IP告知システム (2) 防災行政無線 (3) 緊急告知ラジオ放送卓 2. 防災情報通信ネットワークシステムの整備 (1) 岡山市防災情報ネットワーク (2) 岡山県防災情報ネットワーク など 3. 新庁舎災害対策本部 映像・音響システムの整備					
事業費 (前年度当初予算額)	1,305,136 千円 (94,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,408,116 千円)		地方債	1,297,600 千円	一般財源	7,536 千円
担当課	危機管理室	連絡先		内線 5866		
担当者	防災企画担当課長 奥山 正晃			直通 086-803-1082		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	消防指令システム更新事業					
事業の趣旨・目的	新庁舎整備に併せて消防指令システムを更新整備し、頻発する大規模自然災害等に対して円滑かつ効果的に対応できるように消防通信基盤の充実強化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 新庁舎整備に併せて消防指令システム等を更新・移転 ・ 消防指令システム及び関連設備 ・ 消防情報通信センター 【R7年度予算のポイント】 消防指令システムの構築等を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	2,272,779 千円 (372,863 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	112,515 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,272,779 千円)		地方債	2,160,200 千円	一般財源	64 千円
担当課	消防企画総務課	連絡先		内線 3774		
担当者	課長 西岡 栄治			直通 086-253-9974		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	消防救急デジタル無線更新事業					
事業の趣旨・目的	市民の生命・身体・財産を守る消防活動において無くてはならない消防救急デジタル無線について、経年劣化に伴う通信障害を回避し、安定稼働させるため更新を行います。					
事業の概要	【事業内容】 1. 消防救急デジタル無線更新(令和6～8年度) 最新の技術を取り入れ、大規模災害にも耐え得る無線設備を構築 (1)消防団用無線受令機の更新 (2)基地局無線設備(消防指令センターと災害現場をつなぐ無線通信設備)の更新 (3)移動局無線設備(車載型・卓上型・可搬型)の更新 2. 多重無線ネットワークルート変更に伴う改修業務委託(令和7～8年度) 新庁舎整備に併せて消防情報通信センターを西消防署から市役所新庁舎へ移転するため、多重無線ネットワークのルート変更を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	77,037 千円 (5,500 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	32,346 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(77,037 千円)		地方債	44,600 千円	一般財源	91 千円
担当課	情報指令課		連絡先	内線 3774		
担当者	課長 山神 清志			直通 086-253-9982		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	アプリを活用した消防団DX推進事業 新規					
事業の趣旨・目的	消防団アプリを導入し、災害活動支援業務等における消防団員等の業務負担の軽減、効率化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 以下の消防団関係業務にアプリを導入・活用 1. 災害活動支援業務 ・消防団員の出勤状況の把握 ・水利情報の把握 2. 消防団関係庶務業務 ・各種報告書の電子化 ・資料及び情報共有の電子化 【R7年度予算のポイント】 ・消防団アプリの導入・活用による業務負担の軽減、効率化 ・消防団員への情報共有の迅速化					
事業費 (前年度当初予算額)	3,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,000 千円
担当課	消防企画総務課		連絡先	内線 3771		
担当者	地域担当課長 日下 靖也			直通 086-234-9973		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地球温暖化対策事業					
事業の趣旨・目的	脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換等に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 廃棄物発電電力活用事業 ごみ焼却施設で発電したカーボンフリー電力を本庁舎等の市有施設へ供給 2. 公共施設省エネルギー化事業 新築する公共施設のZEB化や、既存の公共施設や公園等の照明LED化を実施 3. 太陽光発電設備整備事業 認定こども園や児童クラブ等に太陽光発電設備を導入 4. スマートエネルギー導入促進事業補助金 市民・事業者におけるスマートエネルギー化を促進 5. その他 ZEH普及啓発事業、J-クレジットプロジェクト、ゼロカーボン研究会 など					
事業費 (前年度当初予算額)	2,988,535 千円 (2,252,175 千円)	財源内訳	国県支出金	224,520 千円	その他	167,869 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,193,584 千円)		地方債	676,000 千円	一般財源	1,920,146 千円
担当課	ゼロカーボン推進課(他23課)		連絡先		内線 3978	
担当者	課長 宮本 貴司				直通 086-803-1282	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業					
事業の趣旨・目的	老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン類等の削減対策やサーマルリサイクルの促進等を図るため、2市1町の可燃ごみを処理する施設を岡南環境センター敷地に整備し、20年間運営することで、安全・安心で安定的なごみ処理を実現します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となって広域的なごみ焼却処理施設を建設 (1)岡南環境センターの解体工事 (2)3つの政策効果 ・施設の集約化により経済性(施設維持管理費等)が向上 ・施設の強靱化及び災害時のごみ処理能力の確保 ・ダイオキシン類、温室効果ガス排出量の抑制 (3)スケジュール ・令和4年度～令和9年度・・・解体・建設工事 ・令和9年度～令和28年度・・・運営 2. 広域処理施設建設中における岡山市の可燃ごみの一部を市外処理 (1)令和4年度～令和8年度間の廃棄物処理(運営・運搬・処理)を適切に実施 ・中継施設の運営 ・処理は倉敷市及び民間処理施設に委託					
事業費 (前年度当初予算額)	2,352,300 千円 (2,288,200 千円)	財源内訳	国県支出金	324,044 千円	その他	692,788 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,353,078 千円)		地方債	774,400 千円	一般財源	561,068 千円
担当課	環境施設課		連絡先		内線 3980	
担当者	課長 加藤 孝志				直通 086-803-1311	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	スマート窓口事業					
事業の趣旨・目的	新庁舎開庁に向けて、「行かない」「書かない」「待たない」のコンセプトのもと市役所での手続きをサポートし、手間の削減・待ち時間の削減に取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「行かない」の実現のため、オンライン申請システム手続きの拡大 「書かない」「待たない」の実現のため、窓口業務の改革・改善 現状業務の把握、改善点洗い出しを実施し、新庁舎での業務イメージの作成、システム導入により来庁される方のスムーズな申請・交付等を実現 <p>【R7年度予算のポイント】</p> <p>新庁舎における、窓口での手間の削減・待ち時間の削減を実現するため、現庁舎での窓口業務の改革・改善を実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	50,000 千円 (140,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(55,028 千円)		地方債	0 千円	一般財源	50,000 千円
担当課	デジタル推進課	連絡先		内線 3450		
担当者	ICT推進担当課長 葛原 基史			直通 086-803-1047		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	業務改革推進事業					
事業の趣旨・目的	岡山市第六次総合計画後期中期計画に掲げるBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)を本格化させ、全庁業務量調査で抽出した課題のある業務のプロセスを1から見直すことにより、職員負担の軽減、人為的ミスの削減、住民サービスの維持・向上等を目指します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定型的な作業が多い等、課題のある業務を可視化 ・R3年度実施の業務量調査を踏まえ、効率性等に課題のある業務をターゲット デジタル技術等による課題解決のモデルを検討 ・「紙や手書き事務からの脱却」、「パソコン作業の自動化」を意識した業務の効率化 ・導入済のRPA、kintoneなどのデジタルツールの活用拡大 					
事業費 (前年度当初予算額)	14,000 千円 (27,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(17,930 千円)		地方債	0 千円	一般財源	14,000 千円
担当課	行政改革推進室	連絡先		内線 3594		
担当者	室長 岡本 浩司			直通 086-803-1096		

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	公共施設予約システムの一元化とキャッシュレス決済					
事業の趣旨・目的	公共施設利用者の利便性向上のため、施設の空き状況等が確認できるシステムを導入し、予約・利用手続きの一元化を図ります。また、施設の利用料について、キャッシュレス決済を導入します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> オンライン予約システムの運用 <ul style="list-style-type: none"> オンラインによる、空き状況の閲覧や利用手続き等の一元化 スマートフォン利用時における画面構成の最適化 キャッシュレス決済の導入 <ul style="list-style-type: none"> クレジットカードやQRコードなどによる、キャッシュレス決済への対応 対象公共施設の拡充 					
事業費 (前年度当初予算額)	13,500 千円 (27,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(13,752 千円)		地方債	0 千円	一般財源	13,500 千円
担当課	デジタル推進課		連絡先		内線 3450	
担当者	ICT推進担当課長 葛原 基史				直通 086-803-1047	

令和7年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	外部専門人材活用事業					
事業の趣旨・目的	企業等の最前線で活躍し、高い専門性を持った人材を登用することで、既存の行政の考え方や枠組みに捉われない柔軟な発想やアイデアにより、多様化・複雑化する行政課題の解決を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>市が強化すべき重点分野において、各業界の最前線で活躍し、高い専門性を持った人材を、「戦略マネージャー」として活用</p> <p>[活用分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX ・脱炭素 ・広報動画 ・戦略的広報活動 ・企業誘致 など 					
事業費 (前年度当初予算額)	11,000 千円 (11,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(14,211 千円)		地方債	0 千円	一般財源	11,000 千円
担当課	政策企画課		連絡先		内線 3587	
担当者	地方創生・政策調整担当課長 串間 由佳				直通 086-803-1043	

事務事業名	情報発信力強化事業					
事業の趣旨・目的	市が進めるまちづくりの目標や課題を市民に理解し、共感してもらえるよう、市の施策をわかりやすく発信していきます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 動画を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の重要な施策を題材とした動画を作成し、配信 ・幅広い事業を題材とした短編動画を作成し、配信 ・職員の広報マインド向上(広報研修・広報クリニック等の実施) <p>2. 市公式LINEのセグメント配信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者のニーズに合った魅力ある情報を配信(セグメント配信) 					
事業費	24,600 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(25,600 千円)		地方債	0 千円	一般財源	24,600 千円
(今年度当初要求額)	(24,692 千円)					
担当課	広報広聴課		連絡先		内線 3470	
担当者	課長 柳井 雅世				直通 086-803-1024	